

別添

A. 事前評価表	R-1
B. サイト写真		
Mt. Ayliff	P-1
Tabankulu	P-5
Mt. Frere	P-9
Mukuti	P-13
Mt. Fletcher	P-17
Bizana	P-21
Flagstaff	P-25
Lusikisiki	P-29
C. 学校別調査シート		
Mt. Ayliff	C-1
Tabankulu	C-5
Mt. Frere	C-9
Mukuti	C-13
Mt. Fletcher	C-17
Bizana	C-21
Flagstaff	C-25
Lusikisiki	C-29
C'. 地域社会・教育調査票	1
D. 敷地現況図/配置計画図		
敷地現況図（対象サイトは配置計画図を参照）		
Tabankulu S-1	
Mt. Fletcher S-3	
Bizana S-5	
Flagstaff S-7	
Lusikisiki S-10	
配置計画図		
Mt. Ayliff	D-1
Tabankulu	D-5
Mt. Frere	D-7
Mukuti	D-11
Mt. Fletcher	D-15
Bizana	D-17
Flagstaff	D-19
Lusikisiki	D-20

事前評価表（無償資金協力）

1. 対象事業名
南アフリカ国 第二次東ケープ州小中学校建設計画
2. 我が国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1) 南アフリカの国民 1 人あたり GDP は、3011US ドル（98 年：世銀アトラス）と高いが、1994 年の総選挙以前のアパルトヘイト体制下で生じた人種・地域間格差は依然大きく、特に、アフリカ人率が高い州や地域にその傾向が強く（クワズール・ナタル、ノーザン、ムプマランガ、東ケープ州の 4 州が顕著）農村にすらアフリカ人は経済的な発展から取り残され BHN に係る基本的なサービスの埒外にある。それらの解消のため南アフリカ政府は、開発計画を策定し不足部分を我が国のみならず各国、各機関に援助を要請している。</p> <p>(2) 同国は、国家開発の基本とする復興開発計画(RDP)において重点開発計画を 5 分野（ BHN 人的資源開発 経済建設 民主化 財源を含む RDP の実施体制）に絞っており、教育、特に教育における人種間格差の是正はその重要な一つである。</p>
3. 事業の目的等
<p>本計画は、同国東ケープ州、ノースイースタン地域の地方山間部において、小学校（1 - 6 年）、小中学校（1 - 9 年）を対象として、教室の建替え・増築を行うことによって、アフリカ人居住区における教育環境を改善することを目的とするものである。</p>
4. 事業の内容
<p>(1) 対象 東ケープ州ノースイースタン地域（全 9 地区のうちマウント・アイリフ、タバングル、マウント・フレア、マルチ、マウント・フレッチャー、ビザーナ、フラッグスタッフ、ルシキシキの 8 地区）。</p> <p>(2) アウトプット 対象地域における学校施設の整備。</p> <p>(3) インプット 対象地域における教室、事務室、倉庫、便所、雨水タンクからなる 20 校（179 教室）の小中学校を建設する。</p> <p>(4) 総事業費 日本側 : 6.8 億円 相手国側 : 200 万円</p> <p>(5) スケジュール 日本政府の無償資金協力によって実施される場合の必要工期は、詳細設計を含め 18 ヶ月が見込まれる。。</p> <p>(6) 実施体制 南アフリカ国東ケープ州教育省および地区教育局</p>

5. 成果の目標														
<p>(1) 対象校における生徒1人あたりの教室床面積の増加。 現状の 0.86 m²を州教育省が(*1)暫定的に標準とする 1.25 m² (50 m²の教室に定員40名)以上に改善する。 (*1:州教育省の最終目標は、60 m²の標準教室に定員40名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2000年(実施前)</th> <th>2003年(実施後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>7,884人</td> <td>7,884人</td> </tr> <tr> <td>教室面積</td> <td>6,800 m²</td> <td>11,050 m²</td> </tr> <tr> <td>生徒1人あたり 教室面積</td> <td>0.86 m²</td> <td>1.40 m²</td> </tr> </tbody> </table>				2000年(実施前)	2003年(実施後)	生徒数	7,884人	7,884人	教室面積	6,800 m ²	11,050 m ²	生徒1人あたり 教室面積	0.86 m ²	1.40 m ²
	2000年(実施前)	2003年(実施後)												
生徒数	7,884人	7,884人												
教室面積	6,800 m ²	11,050 m ²												
生徒1人あたり 教室面積	0.86 m ²	1.40 m ²												
6. 外部要因リスク														
<p>(1) 適正な生徒の振り分け 東ケープ州では小学校学区が明確に定められていないため、施設が改善された良質な小中学校への入学希望者が増加し、また、周辺学校からの転校希望者が増加する傾向がある。本計画対象校の適切な学習環境を維持するためには、対象地域における生徒の振り分けを適切に実施することが必要となる。</p> <p>(2) 教員の適正配。 本計画により整備される小中学校の教員として新規に38人が必要となるが、これが適切に実施されることが必要である</p> <p>(3) 適切な維持管理。 施設の性能は適正な維持管理が条件となる。したがって、各学校における適正な学校運営委員会の機能の継続、およびスクール・ファンド徴収の継続(必要最低徴収額の維持)が計画施設の性能維持の条件となり、ひいてはアウトプットの目標値達成の条件となる。</p>														
7. 今後の評価計画														
<p>(1) 事後評価に用いる成果指標 対象校における生徒1人あたりの教室床面積(m²)</p> <p>(2) 評価のタイミング 事業完了時(2003年)*3 施設使用開始後3年目(2006年)に再度全体の事後評価を行なう。</p>														

アプローチ



典型的なマッドストラクチュア。白地は土プラスター+ペンキ塗り、茶地は土ブロック生地のまま。風による屋根の損傷は未補修。



教室内的での聞き取り調査。
CB積みであっても目地は土モルタルで脆弱。床は無筋コンクリートで、クラック・不陸が多い。



既存校舎。教会敷地につき、移転予定。



新規学校予定地。住民により建設中の校舎（1教室）。



新規学校予定地



サイトは比較的平坦な敷地。



昨年のレインストームによる屋根の被害を受けた校舎。



左がC B造、右がマッドストラクチャーの校舎。



アプローチおよびサイト全景。



敷地は傾斜地の為、石による土留を設けている。



典型的なマッドスクールの校舎。



緊急校舎（左方の3棟）



既存校舎。



敷地周辺の地勢。





既存校舎のうち、程度の良い2棟。



建設中のマッドストラクチャーの教室。屋根・窓ガラス等は未施工のため、防寒服を着て授業を行っていた。



独立したマッドストラクチャー教室、後方にトイレ。

パネルの欠けたソーラー設備が見える。



シリンダーハット教室は風雨の為、外壁が痛んでいる。



校舎はCB造、民家シリンダーハット、建設中のマッドストラクチュア等となっている。



サイトは林に囲まれている。



マッドストラクチュアの教室および木造プレハブのエマージェンシー教室。



校舎の壁は風雨により半分溶けかかっている。手前はトイレ。





アプローチより学校を見る。



右端にテントの仮設校舎が見える。



マッドストラクチュア教室だが、ペンキを塗るなどメンテナンス状況が良いほう。

サイト近くに電線があるが、サイト
への供給はない。



強風対策のため、屋根に石を置いて
いる。



教室内部の様子。





レインストームによる被害。



DOE 標準仕様の建物。ソーラー設備、給水タンク付き。



DOE 標準仕様の教室内部。

サイト南西側は、樹木に囲まれている。



傾斜地に建つマッドストラクチャアの教室。



他ドナーにより設置された新しいトイレ。



サイトは赤土と草原になっている。



校舎は泥壁、トタン屋根が3棟、C B造棟。グラウンドは赤土となっている。



マッドストラクチュアの校舎。



サイトは丘陵地の緩やかな傾斜地に位置する。



トイレ現況。



ソーラー設備。パネルはあるが機能していない。



サイトへのアプローチ。
敷地は緩やかな傾斜地に位置する。



校舎は1棟がC B造、1棟がマッド
ストラクチュアとなっている。



トイレ現況。





サイトは緩やかな傾斜地に位置する。



校舎は全てマッドストラクチュアであり、損傷している。



電話・アンテナはあるが、受話器が無い。給水タンク有り。

アプローチは泥道(赤土)である。



マッドストラクチュアの校舎。



教員室内部。



サイトは緩やかな傾斜地となっている。



後方はC B 造の校舎、右前方はトイレ。



グラウンドは赤土。



サイトは既に平坦な敷地となっている。5棟はマッドストラクチュア、1棟はC B造でDOE標準仕様となっている。



右端は、DOE標準仕様の建物。



新設されたトイレのブース。



サイトは比較的平坦な敷地となっている。



CB造・トタン屋根の校舎。



建設中のCB造の校舎。

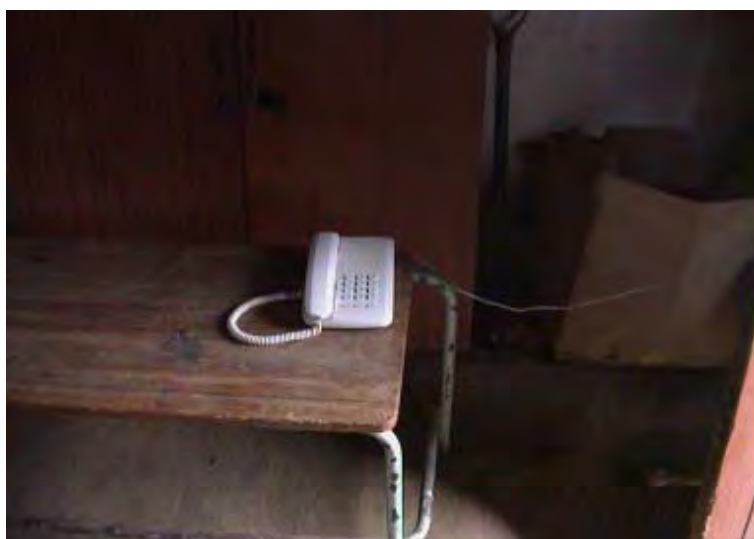




崩壊寸前のシリンダーハット教室。
ポールは電話用。



マッドストラクチュアの教室内部。



標準仕様の教室内部。この学校には、
新設トイレ、電話が設けられていた。

サイトは比較的平坦な敷地となっている。



木軸下地土壁造の校舎。損傷が著しい。



建物の建具は無く、壁は剥がれ落ちている。



サイトは緩やかな丘陵の馬の背状の敷地となっている。



教室不足の為、青空教室を行っている。



校舎は、全てC B造+トタン屋根となっている。手前にソーラー設備のスケルトンが残っている。





アプローチから見たサイト遠景。



教室内部。



電気のアウトレット。



サイトは丘陵地の馬の背に位置する。



校舎は泥壁、屋根はトタン葺き。



外壁の補修が各所に見られる(未塗装)。

サイトは丘陵地の斜面に位置する。
後方中央 2 棟が既存校舎。



レインストームにより外壁はダメージを受けている(典型的な例)。



グラウンドは緩やかな斜面の草地。



サイトおよびサイト周辺は雑木林になっている。



校舎は泥壁およびトタン屋根（雑木林を切り開いた後方の平坦地に建っている）。



教室不足のため、サイト外の教会で授業を行っている。



サイト全体が丘陵地の斜面となっている。



校舎は泥壁、トタン屋根。



マッドストラクチュアの教室。



サイトは全体に平坦地に位置する。
敷地全周にフェンスが設けられている。



校舎はCB造+土モルタル。内外壁共
塗装されている。



教室内部。比較的良く手入れされて
いる。



サイトは全体に平坦。後方手前はトイレ。工事中の道路の後方に校舎が建っている。



校舎は比較的程度が良い。校舎右側に壊されたソーラー設備のスケルトンが残っている。



敷地全体が建設中の道路によって2つの草原に分かれている。



サイトへのアプローチ。



シリンダーハットの教室も使用している。



教室内部。床は牛糞 + 土。



サイトへのアプローチ。



サイトは、丘陵地の傾斜地に位置する。サイト南および西は、林となつて



校舎はマッドストラクチュア。聞き取り調査の様様。



生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	85	54	40	25	35	20	20	24	21	324
1998	55	48	38	31	20	16	38	20	22	288
1999	60	54	34	30	31	24	25	33	38	329
2000	42	40	35	25	32	21	25	30	35	285
平均	61	49	37	28	30	20	27	27	29	307

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	CB造であるが建物程度は良くない。	3	3	2
Bldg2	M	損傷度が著しい。建物一部が壊れている。	3	0	0
WC		波板鋼板張り2棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	2	2	Pit	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
年計画による			無	大きな損傷部分は手付かずの状態。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
40	0:42	Mt. Ayliffの街を抜け、程なくサイトに至る。未舗装区間はわずかで路面状況は良い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	63	39	36	44	44	42	40	48	37	393
1998	72	48	51	38	31	37	44	35	34	390
1999	72	58	52	51	49	36	45	46	38	447
2000	55	44	51	47	46	44	39	46	43	415
平均	66	47	48	45	43	40	42	44	38	411

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	建設中。	1	0	0

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	2	2	Pit	0

フェンス 無し

スクールファント*			ビルディング	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	ファント*	
R20/YP			プロジェクト毎	既存校舎のメンテ状態は良い。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	26	0:30	新サイトはN2より1キロ。泥道であり、要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	60	55	50	48	40	40	30	26	18	367
1998	77	60	58	64	56	38	44	20	18	435
1999	78	54	46	51	44	46	26	33	23	401
2000	63	40	46	35	34	50	20	20	25	333
平均	70	52	50	50	44	44	30	25	21	384

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	壁の損傷度が著しい。	4	0	0
Bldg2	CB	CB造であるが建物程度は良くない。	2	2	2
Bldg3	M	壁の損傷度が著しい。	1	0	0
Bldg4	CB	トルネードによる屋根の損傷あり。 照明器具配管あるが壊れている。	2	0	0

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	1	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	0	0		0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YP			無	一部壁の補修が行なわれている。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
28	0:30	N2より約6キロ未舗装区間があるが状態は良い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	102	46	44	38	26	28	32	24	27	367
1998	74	36	40	35	28	27	29	35	26	330
1999	80	36	34	32	29	25	34	26	24	320
2000	65	40	35	30	31	31	36	21	18	307
平均	80	40	38	34	29	28	33	27	24	331

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	損傷度が著しい。	1	0	0
Bldg2	M	損傷度が著しい。	2	0	0
Bldg3	M	損傷度が著しい。建具も無い。	1	0	0
WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	1	1	Pit	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	無	老朽化しているがメンテ状態は良い。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
46	0:52	Mt. Ayliffの街を抜け、山道に入る。未舗装区間は約9キロで路面状況は悪い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

C-1 Tabankulu Mbombo

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	90	47	35	45	43	39	48	45	38	430
1998	120	120	52	40	35	32	30	28	30	487
1999	64	58	48	40	34	36	35	35	40	390
2000	128	76	75	43	41	34	40	33	32	502
平均	101	75	53	42	38	35	38	35	35	452

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	損傷度が著しい。	2	0	0
	Bldg2	M	シリンダーハット	1	0	0
	Bldg3	M	シリンダーハット	1	0	0
	Bldg4	M	損傷度が著しい。	1	0	0
	Bldg5	M	損傷度が著しい。建物の半分が壊れている。	1	0	0
	Bldg6	W	Emergency Classroom	1	1	1
	Bldg7	W	Emergency Classroom	1	1	1
	Bldg8	W	Emergency Classroom	1	1	1
	WC		波板鋼板張り			

(注) M=泥または泥レンガ造
 CB=コンクリートブロック造
 W=木造
 標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)
 シリンダーハット = 萱葺き円形の在来工法の建物

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	Pit	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	ファント	
R10/YS	R20/YS		無	壁の補修等を行なわれている様子。

(注) YP=Per Year,Parents
 YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	131	2:25	N2より未舗装路を約41キロ入る。この間約1時間。途中数箇所路面状況の悪い箇所があるが、全般には良い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
 所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	60	42	31	30	38	41	35	38	34	349
1998	51	43	45	40	45	45	55	49	51	424
1999	50	50	51	45	35	55	48	47	41	422
2000	44	53	42	33	38	34	32	40	36	352
平均	51	47	42	37	39	44	43	44	41	387

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	CB造で比較的新しいが建物程度は良くない。	3	3	3
	Bldg2	W	羽目板張りで程度は比較的良い。	3	0	0
	Bldg3	CB,M	工事中であるが休止している様子。 屋根がないが授業に使用している。	2	0	0
	Bldg4	M	損傷度が著しい。	1	0	0
	WC		波板鋼板張り2棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
1	1	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度ハンドクラフトのサークル活動、スポーツ等で住民に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	2	2	Pit	0
Onsite	0	0	2	2	Pit	0

フェンス 無し

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	無	メンテの形跡は無く、建物の程度は良くないがきれいに使っている様子。
R5/YS	R15/YS	R38/YS		

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	7.1	1:25	Tabankle方向のメインより未舗装路を約16キロ(35分)。途中急坂あり。雨天走行難かつ要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	102	59	44	41	54	42	28	37	45	452
1998	70	50	39	30	32	25	29	25	12	312
1999	90	80	71	62	60	50	53	51	42	559
2000	54	28	23	20	22	35	27	29	25	263
平均	79	54	44	38	42	38	34	36	31	397

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	3	3	2
	Bldg2	M	壁、屋根の損傷度が著しい。 ソーラー用キャビネット、照明器具(損傷)あり。	2	0	0
	Bldg3	M	工事中			
	Bldg4	M	シリンドーハット			
	WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)
シリンドーハット = 葎葺き円形の在来工法の建物

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	1	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	Pit	0

フェンス 無し

スクールファット			ビルディング	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	ファット	
R30/YS	R40/YS	R50/YS	無	壁の補修等を行なわれている様子。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	7.0	1:24	N2より未舗装路を約7キロ入る。泥道で走行速度は遅い。 サイト手前は岩、砂利、泥道でトラック走行難あり。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

C-4 Tabankulu
Ngqane

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	150	47	24	45	18	26	51	30	17	408
1998	200	52	61	26	43	34	61	31	25	533
1999	190	51	55	47	25	45	38	43	21	515
2000	167	30	40	57	23	21	58	31	14	441
平均	177	45	45	44	27	32	52	34	19	474

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	損傷度が著しい。	3	0	0
Bldg2	W	Emergency Classroom	1	1	1
Bldg3	W	Emergency Classroom	1	1	1
Bldg4	W	Emergency Classroom	1	1	1
Bldg5	M	損傷度が著しい。屋根に穴があいている。	4	0	0
WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	1	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ				Toilet Type	継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total		
None	0	0	1	1	Pit	0

フェンス 無し

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R20 / YP			無	土蔵の建物はかなり傷んでいるが、床、壁の保守が行なわれている。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
6.8	2:02	Mt. Ayliffの街を抜け、山道に入る。未舗装区間は約30キロで路面状況は悪い。この間の所要時間は1時間30分。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	91	86	87	70	41	39	39	56	49	558
1998	59	55	53	57	50	48	45	42	38	447
1999	58	55	57	49	55	51	46	49	37	457
2000	59	55	57	50	55	51	46	49	37	459
平均	67	63	64	57	50	47	44	49	40	480

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	屋根に損傷あり。	1	0	0
Bldg2	M	シリンダーハット	1	0	0
Bldg3	M	シリンダーハット	1	0	0
Bldg4	M	シリンダーハット、壁の損傷が著しい。	1	0	0
Bldg5	M	妻壁に損傷あり。	2	0	0
Bldg6	M	損傷度が著しい。建物の半分が壊れている。	1	0	0
Bldg7	テント	仮設テントを使用。	1	0	0
Bldg8	CB	工事中			
WC					

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)
シリンダーハット = 萱葺き円形の在来工法の建物

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ				Toilet Type	継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total		
None	0	0	0	0		0

フェンス

無し

住民協力

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R5/YS	R10/YS	R15/YS	R100/YP	一部の建物に損傷があるがメンテされ、きれいに使われている。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
90	1:13	N2より未舗装路を約8キロ入る。 サイト手前4キロまでは路面状況は良い。 手前4キロは泥道で状況悪く、要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	71	63	67	70	41	39	39	56	49	495
1998	67	64	60	68	46	32	43	36	37	453
1999	70	72	72	48	45	35	27	48	45	462
2000	64	64	71	33	36	30	32	30	52	412
平均	68	66	68	55	42	34	35	43	46	456

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	損傷度が著しい。	3	0	0
Bldg2	M	損傷度が著しい。	2	0	0
Bldg3	M	損傷度が著しい。	2	0	0
WC		波板鋼板張り5ブース			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	2	2	1	5	Pit	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファント ⁺			ビルディング ファント ⁺	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YS	R20/YS	R30/YS	無	外壁等の補修の跡は見受けられる。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
8.9	1:15	N2からの未舗装区間は約4キロ。この間現在補修工事中。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	125	58	48	55	54	55	31	29	24	479
1998	84	46	57	48	40	44	52	22	26	419
1999	82	65	58	51	41	43	36	50	22	448
2000	62	55	79	54	48	43	48	51	45	485
平均	88	56	61	52	46	46	42	38	29	458

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	外廊下、WTあり。	5	5	5
	Bldg2	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	1	0	0
	Bldg3	M	壁、屋根の損傷度が著しく、危険な状態。	2	0	0
	WC		波板鋼板張り2棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水						
Onsite	5	5	2	12	Pit	12

フェンス 有り

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R2.7/YS	R10/YS	R12/YS	無	損傷の著しい建物については殆ど手付かずの状態。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	93	1:18	N2より未舗装路を約10キロ入る。この間の所要時間は17分。 サイト手前1キロは泥道で状況悪く、要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	49	50	40	45	43	45	40	35	20	367
1998	48	50	38	46	45	47	40	36	30	380
1999	45	45	38	39	44	41	45	44	25	366
2000	45	40	39	39	30	46	43	38	35	355
平均	47	46	39	42	41	45	42	38	28	367

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	損傷度が著しい。	3	0	0
	Bldg2	M	損傷度が著しい。	1	0	0
	Bldg3	CB	工事中	1	1	2
	Bldg4	トタン、M	損傷度が著しい。土蔵をトタンで補修している	2	0	0
	Bldg5	トタン	損傷度が著しい。	1	0	0
	WC		波板鋼板張り2棟、レンガ造2棟(新しい)			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	8	8	4	20	Pit	20

フェンス 有り

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R35 / YP			無	外壁等の補修の跡は見受けられる。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	86	1:45	N2より未舗装路を約26キロ入る。この間の所要時間は1時間。 途中数箇所に渡り、岩、砂利、泥道で状況悪く、要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	87	55	50	50	46	40	45	50	45	468
1998	648	423	423	585	477	441	360	504	297	4158
1999	50	55	47	42	39	31	31	30	38	363
2000	35	48	47	37	30	26	25	25	27	300
平均	57	53	48	43	38	32	34	35	37	377

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	損傷度は著しいが壁補修している。	3	0	0
Bldg2	M	損傷度は著しい。屋根に損傷あり。	2	0	0
Bldg3	M	損傷度は著しい。	2	0	0
Bldg4	M	損傷度は著しい。	2	0	0
Bldg5	CB	C B造であるが程度は良くない。工事中			
WC		波板鋼板張り2棟			

(注) M=泥または泥レンガ造

CB=コンクリートブロック造

W=木造

標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
1	1	1	0	0	0

学校施設の多目的使用：時々園芸サークルに敷地内の花壇を開放。

給水、衛生

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	2	2	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スケルファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
年計画による			無	外壁の補修跡多い。手入れされている。床は牛糞と土で補修中。

(注) /YP=Per Year,Parents

/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
86	1:23	D609より未舗装区間に入る。この間約33キロ。所要時間約50分。路面状況は普通。サイト手前2キロは泥道で要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離

所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	106	95	89	87	68	56	45	50	45	641
1998	93	98	65	95	85	56	38	53	34	617
1999	67	77	98	93	81	52	48	32	36	584
2000	59	72	115	121	62	62	37	32	28	588
平均	81	86	92	99	74	57	42	42	36	608

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	CB造ではあるが仕上げは無い。 ソーラー用キャビネット、照明器具あり。	3	3	3
Bldg2	CB	CB造ではあるが仕上げは無い。照明器具あり。	2	2	2
Bldg3	CB	CB造ではあるが仕上げは無い。	2	0	0
Bldg4	CB	工事中			
WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50m²で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	1	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 年に何回か幼児教室を開催。

給水、衛生

給水	トイレ				Toilet Type	継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total		
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファンド			ビルディング ファンド	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R30 / YP			プロジェクト毎	建物比較的新しく、損傷は少ない。そのためメンテ跡は見受けられない。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
87	1:18	D609より未舗装区間に入る。この間約33キロ。所要時間約50分。路面状況は普通。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	65	60	67	0	0	0	0	0	0	192
1998	60	70	69	45	0	0	0	0	0	244
1999	39	54	68	40	34	0	0	0	0	235
2000	40	38	62	58	29	30	0	0	0	257
平均	51	56	67	48	32	30	0	0	0	282

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	壁の損傷度が著しい。	2	0	0
Bldg2	CB	CB造で新たに増築されたが程度は良くない。	2	2	2
WC	B	程度は良くない			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
B=レンガ造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R5/YS	R20/YS	-	R100/YP	メンテの形跡は少ない。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
8.9	1:02	Matatieleを通過し10キロ先より未舗装路に入る。未舗装区間は約5キロ所要時間は7分。 路面状況は良いがサイト前要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	45	47	32	32	28	33	0	0	0	217
1998	40	44	46	38	34	22	0	0	0	224
1999	48	44	37	37	37	18	0	0	0	221
2000	36	32	38	32	32	31	0	0	0	201
平均	42	42	38	35	33	26	0	0	0	216

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	壁の損傷度が著しい。	2	0	0
	Bldg2	M	屋根、壁の損傷度が著しい。	2	0	0
	Bldg3	M	壁の損傷度が著しい。建具も無い。	1	0	0
	WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 有り

住民協力	スクールファンド			ビルディング ファンド	維持管理状況
	G.1~3	G.4~6	G.7~9		
	年計画による			無	壁の補修等メンテは行なわれている様子であるが。手付かずのものもある。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	108	1:21	Matatieleを通過し10キロ先より未舗装路に入る。未舗装区間は約25キロ所要時間は26分。路面状況は良い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

F-1 Mt. Fletcher
Jongisizwe

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	45	23	37	48	28	36	30	33	35	315
1998	460	420	320	440	370	360	300	340	320	3330
1999	36	45	32	49	40	43	31	26	20	322
2000	41	29	37	24	22	31	23	26	18	251
平均	41	32	35	40	30	37	28	28	24	296

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	4	0	0
Bldg2	CB	CB造ではあるが程度は良くない。WTあり。	3	3	3
Bldg3	CB,M	壁、屋根の損傷度が著しい。	4	0	0
WC		波板鋼板張り4ブース1棟、1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
1	1	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
Onsite	2	2	1	5	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
年計画による			無	損傷部分を補修している箇所、手付かずの箇所等あり。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
141	1:25	T84より未舗装路に入る。未舗装区間は約2キロ。サイト手前1キロは泥道で要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

F-2 Mt. Fletcher
Ulundi

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	36	44	46	38	25	50	30	30	25	324
1998	49	40	36	42	35	37	35	42	45	361
1999	49	40	36	42	35	37	35	42	44	360
2000	55	51	38	41	40	39	35	36	32	367
平均	47	44	39	41	34	41	34	38	37	353

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	屋根、壁共損傷が著しい。	3	0	0
	Bldg2	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	3	0	0
	Bldg3	CB	CB造ではあるが程度は良くない。 付近にWTあり。	3	3	3
	WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
1	1	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	無	損傷は目立たない。メンテ状態は良い模様。
R13/YS	R18/YS	R31/YS		

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	191	3:55	KokstadからMt.fletcherまでは舗装路約1時間45分。サイトまではその手前より未舗装路を41キロ。所要時間2時間。各所にて路面状況悪い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

F-3 Mt. Fletcher
Fletchervill

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	85	79	62	75	88	56	55	47	43	590
1998	108	89	60	58	75	76	75	72	49	662
1999	105	76	68	68	72	78	102	64	45	678
2000	60	85	56	76	60	61	109	57	38	602
平均	90	82	62	69	74	68	85	60	44	633

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	WTあり。	6	6	6
	Bldg2	M	壁の損傷度が著しい。	2	0	0
	Bldg3	M	壁の損傷度が著しい。	2	0	0
	Bldg4	M	壁の損傷度が著しい。	1	0	0
	Bldg5	M	壁の損傷度が著しい。	1	0	0
	Bldg6	M	壁の損傷度が著しい。	3	0	0
	WC		波板鋼板張り5ブース2棟、2ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	4	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
Onsite	5	5	2	12	P i t	12

フェンス 有り

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R5 / YS			無	壁の補修は行なわれている。CB造の教室内はきれい。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
148	1:55	T78より未舗装路に入る。未舗装区間は約9キロ所要時間は30分。途中砂利、泥道で状況悪い箇所あり。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

F-4 Mt. Fletcher
Mahlake

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	67	58	46	51	43	40	55	49	51	460
1998	189	252	180	207	180	108	108	207	198	1629
1999	35	24	23	29	15	20	28	21	13	208
2000	40	31	34	39	33	35	41	30	23	306
平均	47	38	34	40	30	32	41	33	29	325

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	WTあり。	3	3	3
	Bldg2	CB	工事中	2	2	2
	Bldg3	CB	工事中であるが長期間休止されている。	1	0	0
	WC		波板鋼板張り4ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水						
Onsite	1	1	2	4	P i t	0

フェンス 有り

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
年計画による			無	施設は比較的新しく、損傷は少ない。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	157	2:05	T84より未舗装路に入る。途中10キロ先より泥、砂利道で勾配あり。 未舗装区間は約17キロ所要時間は35分。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	140	41	40	35	37	27	35	30	37	422
1998	1500	300	530	320	400	260	230	300	420	4260
1999	149	46	45	52	38	39	32	20	34	455
2000	149	43	60	49	55	30	42	34	28	490
平均	146	43	48	45	43	32	36	28	33	456

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	壁の1部に損傷あり。	5	0	0
	Bldg2	M	損傷度はすくない。ソーラー用キャビネット、照明器具あるが使用不能。	3	0	0
	Bldg3	M	シリンドーハット(廃屋状態)	1	0	0
	Bldg4	CB	工事中			
	WC		土蔵造り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
シリンドーハット=萱葺き円形の在来工法の建物
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YS			無	部分的に損傷はあるが、比較的損傷は少ない。メンテがされている様子。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	5.3	1:01	R61より未舗装路に入る。未舗装区間は3キロ所要時間12分。途中急坂、わだちあり。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	151	83	71	68	29	28	37	30	27	524
1998	112	69	57	47	33	28	27	34	39	446
1999	105	86	60	51	43	36	39	37	40	497
2000	96	100	76	59	38	41	36	40	36	522
平均	116	85	66	56	36	33	35	35	36	497

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	屋根、壁の損傷度が著しい。建具も無い。	2	0	0
Bldg2	M	屋根、壁の損傷度が著しい。建具も無い。	2	0	0
Bldg3	M	屋根、壁の損傷度が著しい。建具も無い。	2	0	0
Bldg4	CB	工事中であるが長期間休止されている。			
WC		波板鋼板張り1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YS			無	床の塗り替え等を行なわれている様子であるが、開口部などは建具が無いままとなっている。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
96	2:03	R61より未舗装路に入る。未舗装区間は30キロ所要時間1時間。路面状況は悪い。サイト前わだちあり、要補修。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	200	117	143	100	122	70	78	55	63	948
1998	190	138	150	103	95	102	79	72	51	980
1999	198	103	130	120	102	105	115	88	55	1016
2000	160	105	100	127	130	75	90	106	75	968
平均	187	116	131	113	112	88	91	80	61	978

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	CB造ではあるが程度は良くない。外廊下あり。	2	0	0
Bldg2	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	3	0	0
Bldg3	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	3	0	0
WC		土蔵10ブース			

(注) M=泥または泥レンガ造
 CB=コンクリートブロック造
 W=木造
 標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
Onsite	4	4	2	10	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R7/YS	R25/YS	R50/YS	無	ソーラー発電装置があるが壊れて使用されていない。 建物の損傷は比較的少ない。

(注) /YP=Per Year, Parents
 /YS=Per Year, Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
110	2:20	Bizanaを通過後、17キロ舗装路を経た後、未舗装区間に入る。 未舗装区間は15キロ所要時間は1時間15分

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
 所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	130	108	82	61	52	38	35	37	27	570
1998	135	70	48	60	61	38	27	24	21	484
1999	108	72	100	57	59	54	32	32	19	533
2000	110	84	65	78	64	53	52	34	23	563
平均	121	84	74	64	59	46	37	32	23	538

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	壁の損傷度が著しい。	3	0	0
	Bldg2	M	損傷は少ない。	6	0	0
	WC		波板鋼板張り2棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	2	2	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング ファント	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YS			無	損傷部分は手付かずであるが、教室内はきれいに使われている

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	7.7	1:13	サイト手前1キロ弱までは舗装路。サイト前は上りで滑りやすい。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	145	128	114	64	45	46	40	35	36	653
1998	1056	760	704	360	264	360	304	328	208	4344
1999	116	81	66	50	41	36	32	50	27	499
2000	85	59	57	39	37	26	29	39	34	405
平均	115	89	79	51	41	36	34	41	32	519

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	外壁下部劣化、妻側壁の損傷が著しい。	3	0	0
Bldg2	M	外壁下部劣化、壁面の補修跡が多い。	3	0	0
Bldg3	トタン	仮設教室、屋根、壁ともに波板鋼板張り。	1	0	0
WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R10/YP			無	仮設教室を自力で造っている。 建物にもメンテの跡が多く認められる。

(注) YP=Per Year, Parents
YS=Per Year, Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
6.7	1:16	主用道路からサイトまでのアクセス良。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	62	68	46	34	31	28	42	47	45	403
1998	540	477	432	369	342	306	387	378	396	3627
1999	65	46	42	38	30	21	32	24	22	320
2000	46	42	38	30	20	16	15	26	28	261
平均	58	52	42	34	27	22	30	32	32	328

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	損傷度が著しい。	1	0	0
	Bldg2	M	損傷度は著しいが壁補修している。 WT, 樋を新設している。	3	0	0
	WC	B	他ドナーにより新設されている。			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
B=レンガ造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	4	4	2	10	P i t	10

フェンス 無し

住民協力	スクールファント*	ビルディング*	維持管理状況
	G.1~3	G.4~6	G.7~9
	R10/YP		無
	外壁の補修跡が多い。		

(注) YP=Per Year, Parents
YS=Per Year, Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	76	1:21	主用道路からサイトまでのアクセス良。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	86	50	41	39	46	49	48	35	44	438
1998	77	52	55	39	47	32	44	49	34	429
1999	63	40	38	36	35	41	38	31	33	355
2000	61	28	34	24	19	26	35	26	19	272
平均	72	43	42	35	37	37	41	35	33	374

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	M	4棟の中では良い。	2	0	0
Bldg2	M	壁面劣化著しい。	2	0	0
Bldg3	M	壁面劣化著しい。	1	0	0
Bldg4	M	壁面劣化著しい。	1	0	0
WC		2ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	2	2	P i t	0

フェンス 無し

スクールファント			ビルディング	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	ファント	
無	R30/YS	R50/YP	補修跡多く、手入れ良。	

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
7.5	1:13	主要道路R81からサイトまでのアクセスは短く、近い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	128	80	42	0	0	0	0	0	0	250
1998	150	60	58	0	0	0	0	0	0	268
1999	121	95	51	41	0	0	0	0	0	308
2000	101	75	57	54	32	0	0	0	0	319
平均	125	78	52	48	32	0	0	0	0	334

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	M	補修されており損傷少ない。	2	0	0
	Bldg2	M,B	屋根損傷多い。	2	0	0
	Bldg3	M	屋根片流れ不安定。	3	0	0
	WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 無し

スクールファンド			ビルディング ファンド	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9	R20/YS	R70/YP
				屋根、壁共にメンテの跡が多く認められる。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	6.9	1:10	主要道路R81からサイトまでは平坦。アクセス道7分、近い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	150	74	50	85	52	36	40	33	21	541
1998	264	1606	770	605	528	660	462	275	451	5621
1999	128	115	55	53	39	58	46	36	36	566
2000	88	86	66	37	43	33	55	35	26	469
平均	122	92	57	58	45	42	47	35	28	525

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況	建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
	Bldg1	CB	外壁のダメージは少ないが程度は良くない。	2		2
	Bldg2	CB	外壁のダメージは少ないが程度は良くない。	1		1
	Bldg3	CB,B	外壁のダメージは少ないが程度は良くない。	4		0
	WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
B=レンガ造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
給水	0	0	1	1	P i t	0

フェンス 有り

住民協力	スクールファント	ビルディング ファント	維持管理状況
	G.1~3 G.4~6 R30 / YP	G.7~9	プロジェク 毎 壁補修跡多く、ガラスも全部入っている。メンテ良と思われる。

(注) YP=Per Year,Parents
YS=Per Year,Student

アクセス	距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
	115	2:20	kokstadからの距離は長い、アクセス泥道は3キロ程、10分程度、近い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	130	80	60	55	40	50	39	49	35	538
1998	1386	858	682	616	473	517	451	495	484	5962
1999	131	50	33	31	34	24	22	15	12	352
2000	100	57	36	32	30	26	19	17	12	329
平均	120	62	43	39	35	33	27	27	20	406

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	2	0	0
Bldg2	M	廃屋	1	0	0
Bldg3	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	2	0	0
Bldg4	CB	CB造ではあるが程度は良くない。	2	0	0
WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ				Toilet Type	継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total		
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R7/Y5	R15/Y5	R25/Y5	無	比較的損傷箇所が多くない為か、補修跡はあまり認められない。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
175	1:57	サイトまでの道は砂利道が多いが走行は良い。 但し、サイト内を工事中の道路があり、この区間は現状悪路である。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

I-3 Lusikisiki
Mdingi

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	126	70	53	60	34	30	26	27	19	445
1998	1386	682	671	539	354	352	242	187	297	4710
1999	110	82	64	47	35	34	16	16	22	426
2000	83	39	65	70	22	30	18	19	15	361
平均	106	64	61	59	30	31	20	21	19	411

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	損傷度が著しい。	2	0	0
Bldg2	M	損傷度が著しい。	3	0	0
Bldg3	M	損傷度が著しい。	1	0	0
Bldg4	M	損傷度が著しい。	1	0	0
WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ				Toilet Type	継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total		
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファット			ビルディング	維持管理状況
G.1-3	G.4-6	G.7-9	ファット	
R13/Y5	R19/Y5	R32/Y5	無	メンテ跡はあまり認められない。

(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
160	2:52	R 8 1から1時間近くアクセスに要する。アクセス道は泥道でかつ上り坂、わだちが多い。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

生徒数

	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	計
1997	163	68	48	44	45	45	36	27	28	504
1998	2233	880	627	440	440	385	374	352	143	5874
1999	194	89	76	60	38	40	34	36	26	593
2000	118	69	63	38	34	22	33	16	18	411
平均	158	75	62	47	39	36	34	26	24	503

(注) 平均 = 1998年を除く3年間の平均

建物状況

建物名	構造	建物の状況	教室数	継続使用可能教室数	継続使用可能教室数 (標準教室換算)
Bldg1	CB	壁の損傷は少ないが程度は良くない。	1	0	0
Bldg2	M	屋根損傷あり。不安定で危険。	1	0	0
Bldg3	M	損傷度が著しい。窓は泥で塞いでいる。	1	0	0
Bldg4	M	外壁補修あり。窓は泥で塞いでいる。	1	0	0
Bldg5	M	シリンダーハット、損傷度が著しい。	1	0	0
Bldg6	CB	良好。外廊下あり、教室も明るい。	3	3	3
WC		1ブース1棟			

(注) M=泥または泥レンガ造
CB=コンクリートブロック造
W=木造
シリンダーハット = 萱葺き円形の在来工法の建物
標準教室換算 = 継続使用可能教室の合計面積を50㎡で除した数(四捨五入)

現状			継続使用可能室		
校長室	職員室	物置	校長室	職員室	物置
0	0	0	0	0	0

学校施設の多目的使用： 月一回程度コミュニティの集会、スポーツイベント等に校庭を開放。

給水、衛生

給水	トイレ					継続使用可能トイレ
	Boys	Girls	Staffs	Total	Toilet Type	
None	0	0	1	1	P i t	0

フェンス

無し

住民協力

スクールファット			ビルディング ファット	維持管理状況
G.1~3	G.4~6	G.7~9		
R3.6/Y5	R10/Y5	R23/Y5	無	メンテは行なっている形跡はあるが、窓を泥で塞ぐ等 資材・技術が不足している模様、程度は良くない。

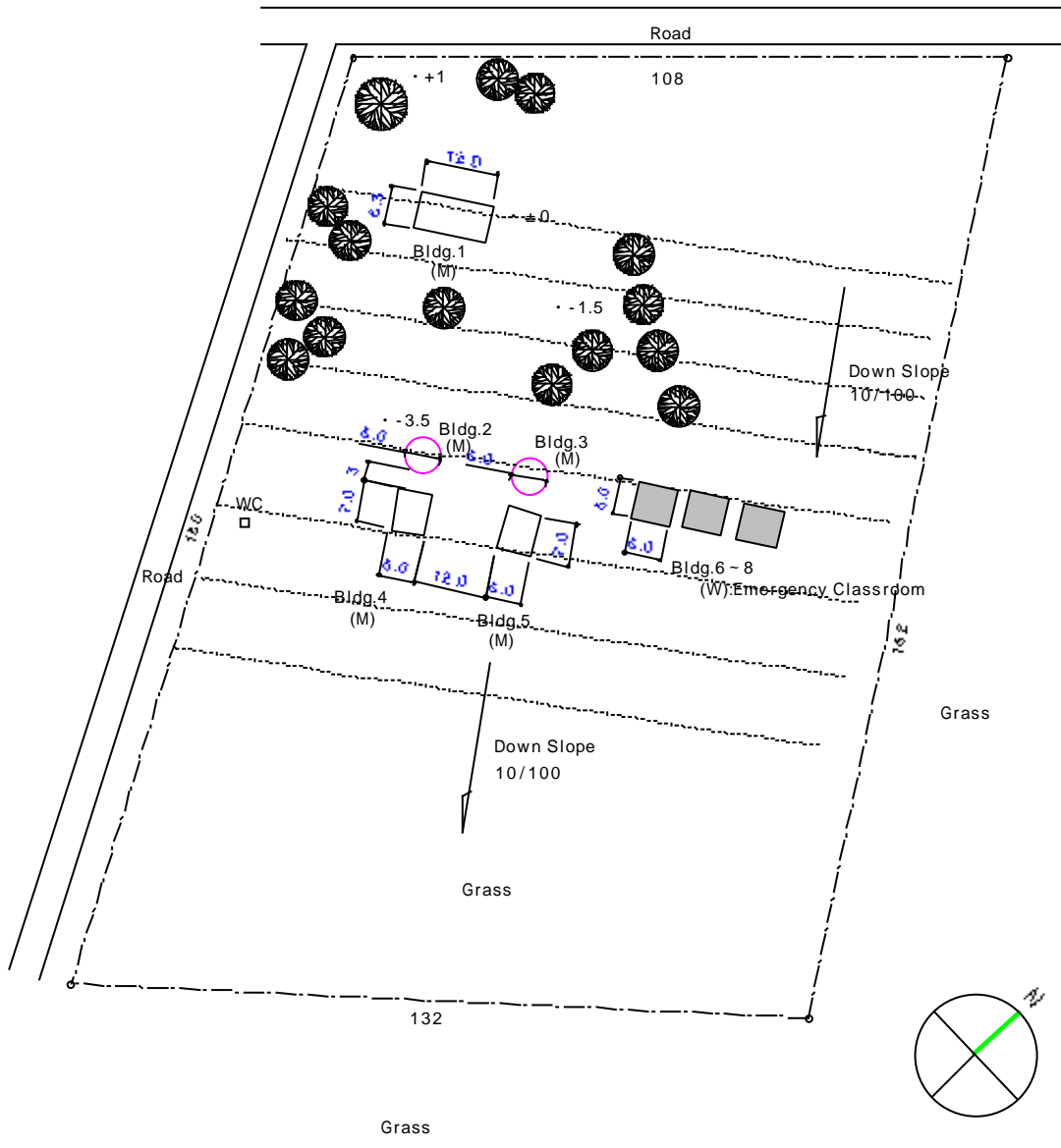
(注) /YP=Per Year,Parents
/YS=Per Year,Student

アクセス

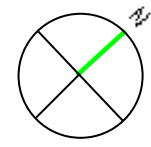
距離(Km)	所要時間	アクセス状況の概要
15.1	2:05	主要道路からサイトまで泥道が26キロ、約30分要。但しアクセスは平坦。

(注) 距離 = コクスタッドからの距離
所要時間 = コクスタッドからの所要時間

Date of Survey 2000-10-11	District, School Name Tabankulu Mbombo	Site No. C - 1
------------------------------	---	-------------------



- █ : Existing Classroom(Sustainable)
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure
- (CB) : Concrete Block Structure

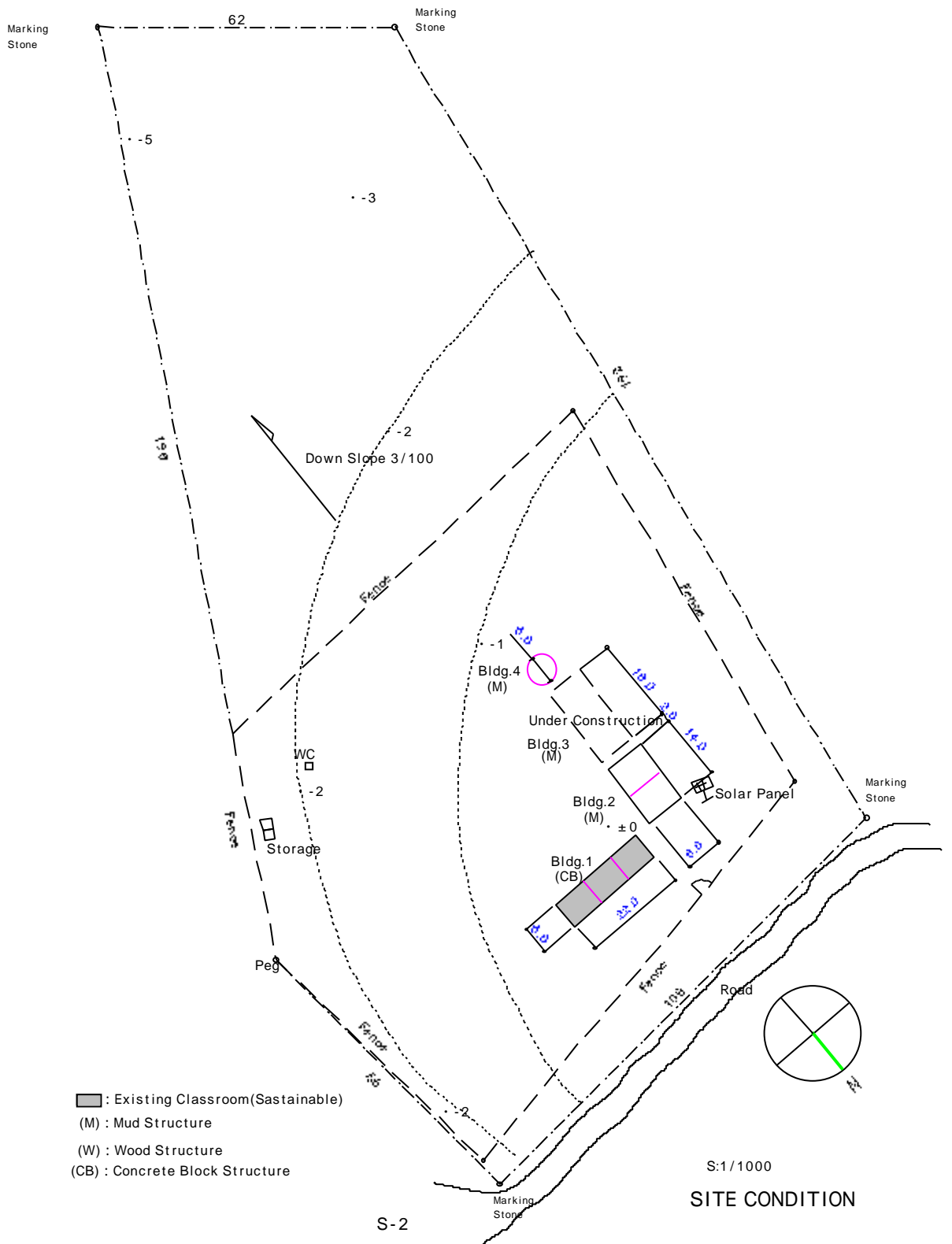


S:1/1000
SITE CONDITION

Date of Survey
2000-10-11

District, School Name
Tabankulu Siyaya

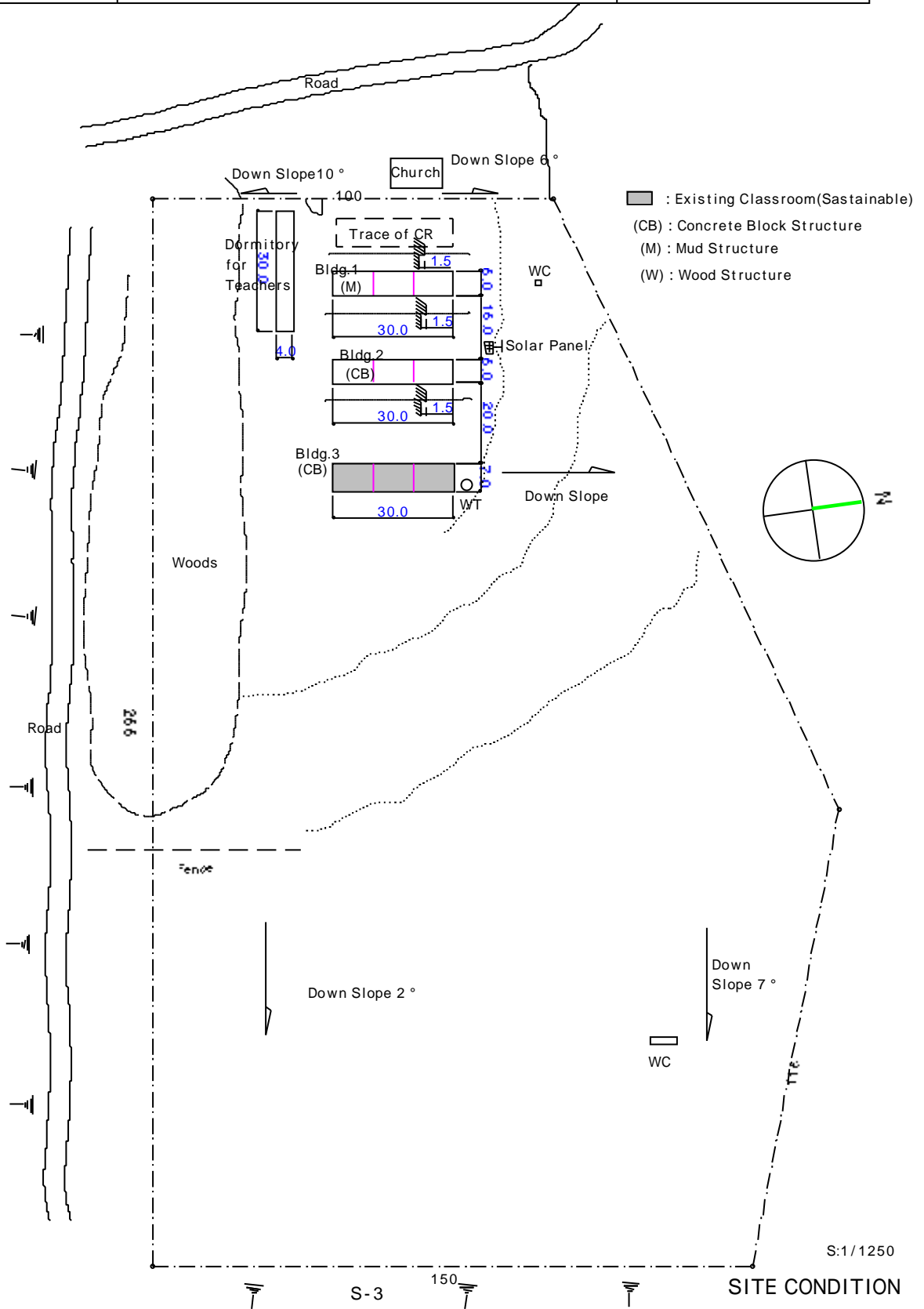
Site No. C - 3



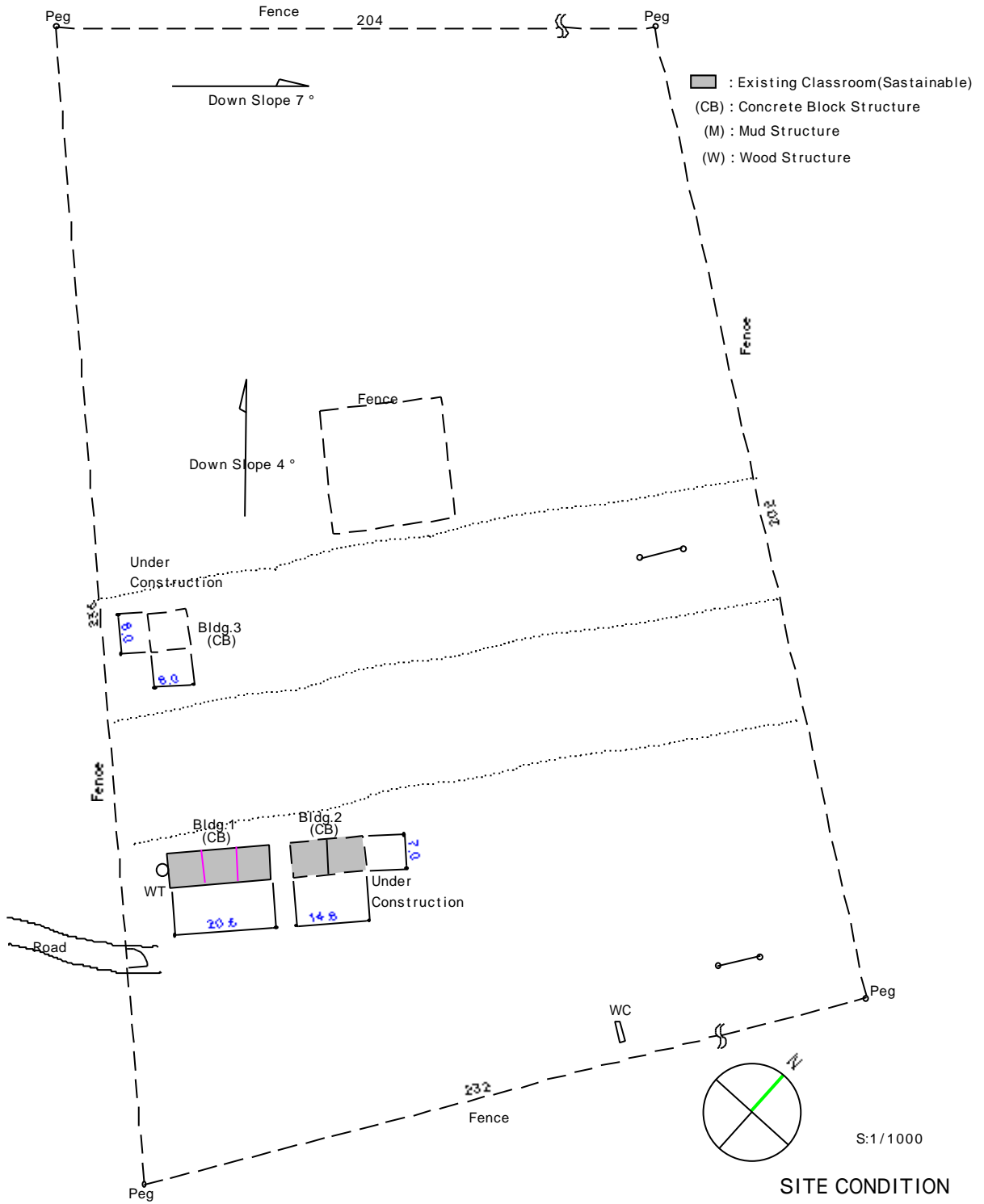
Date of Survey
2000-10-19

District, School Name
Mt. Fletcher Ulundi

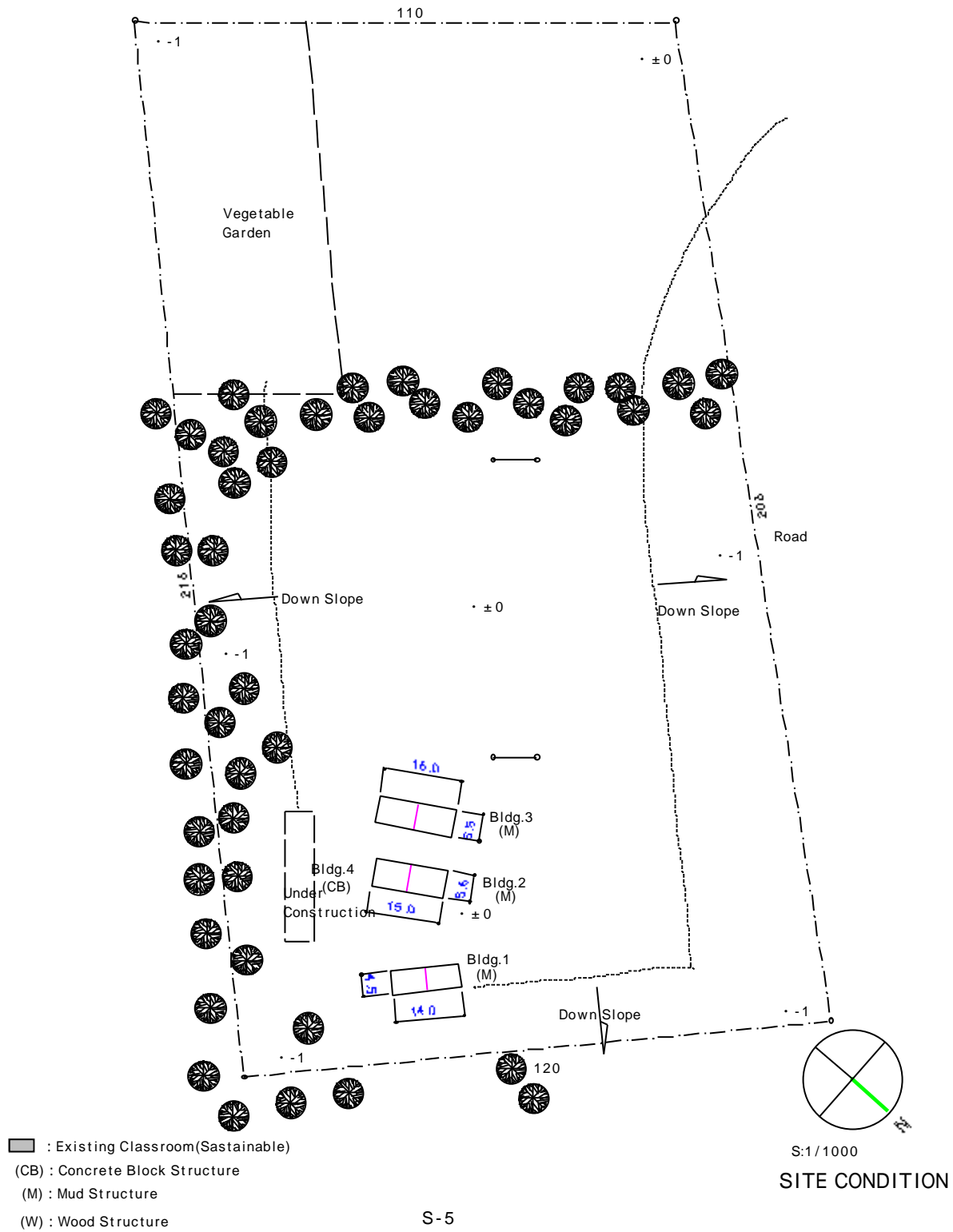
Site No. F - 2



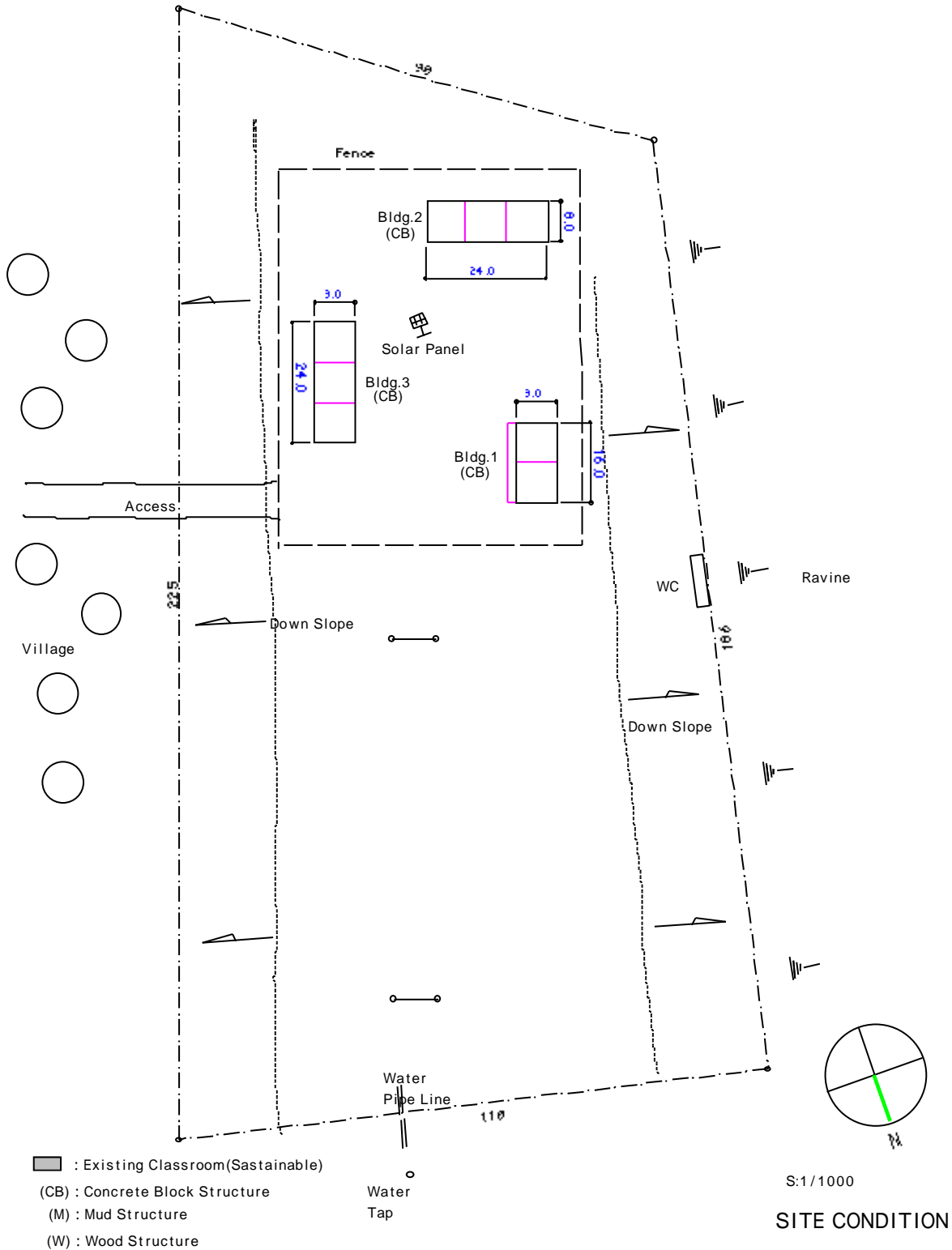
Date of Survey 2000-10-23	District, School Name Mt. Fletcher Mahlake	Site No. F - 4
------------------------------	---	-------------------



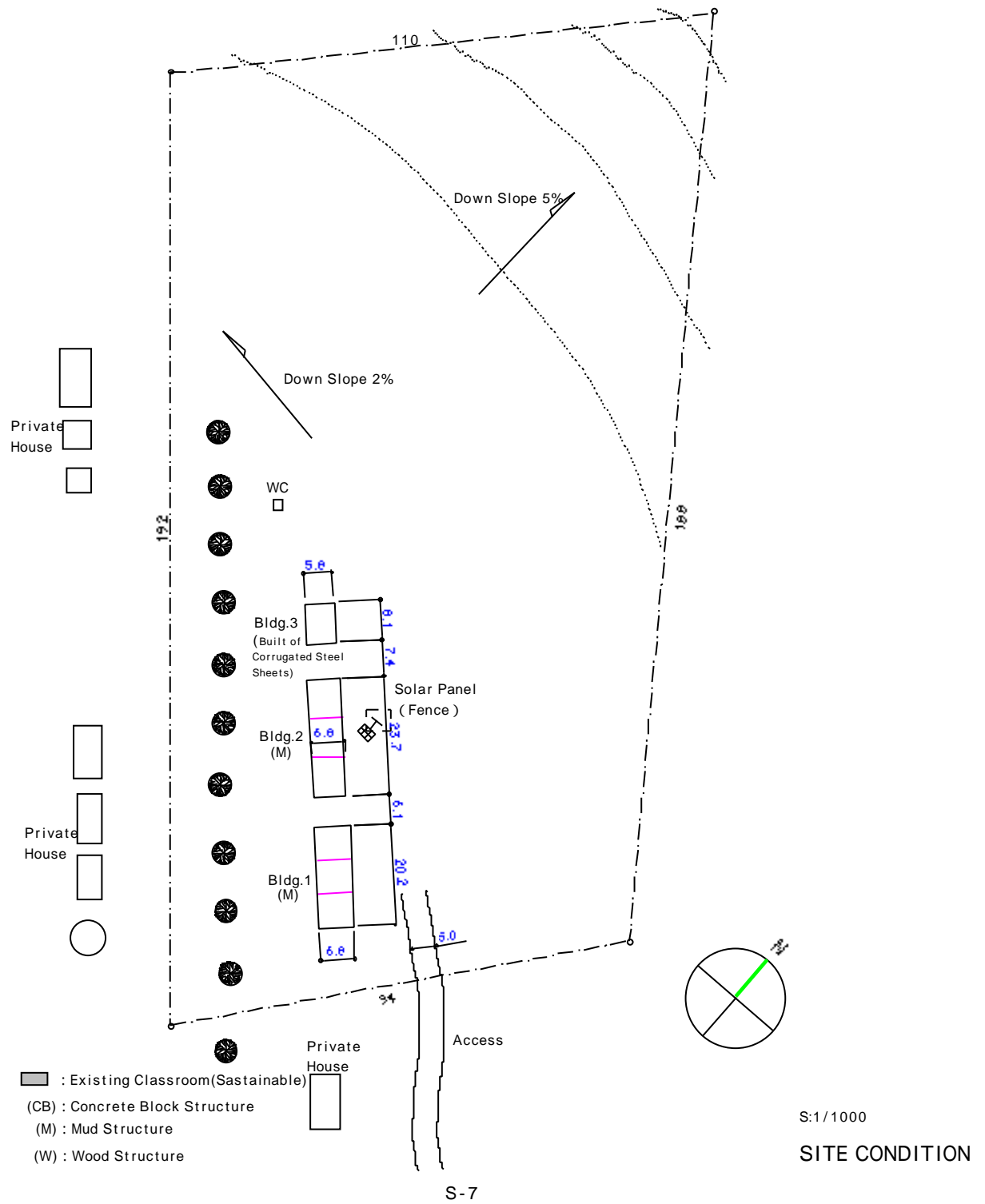
Date of Survey 2000-10-17	District, School Name Bizana Makhosonke	Site No. G - 2
------------------------------	--	-------------------



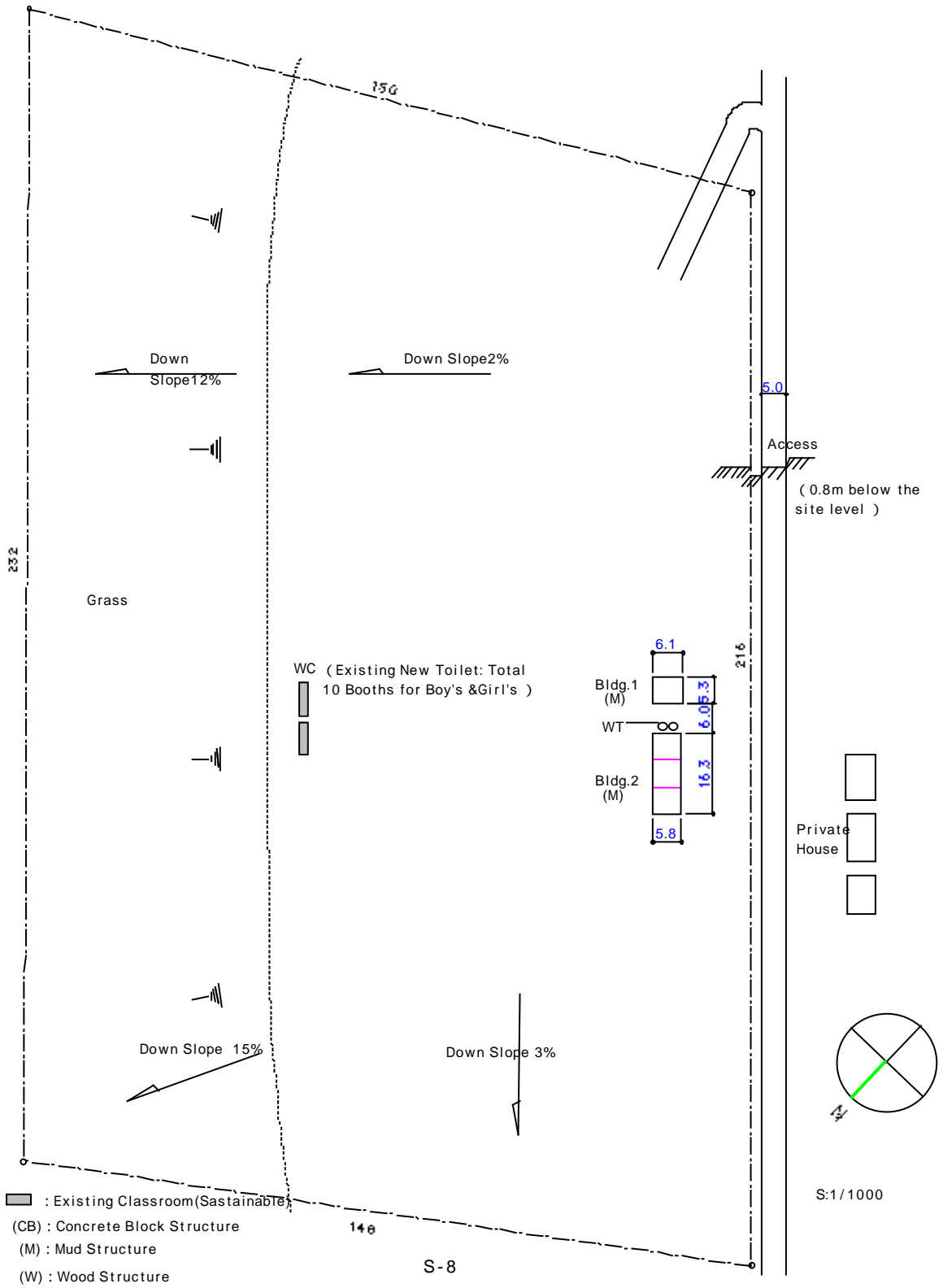
Date of Survey 2000-10-26	District, School Name Bizana Patekile	Site No. G - 3
------------------------------	--	-------------------



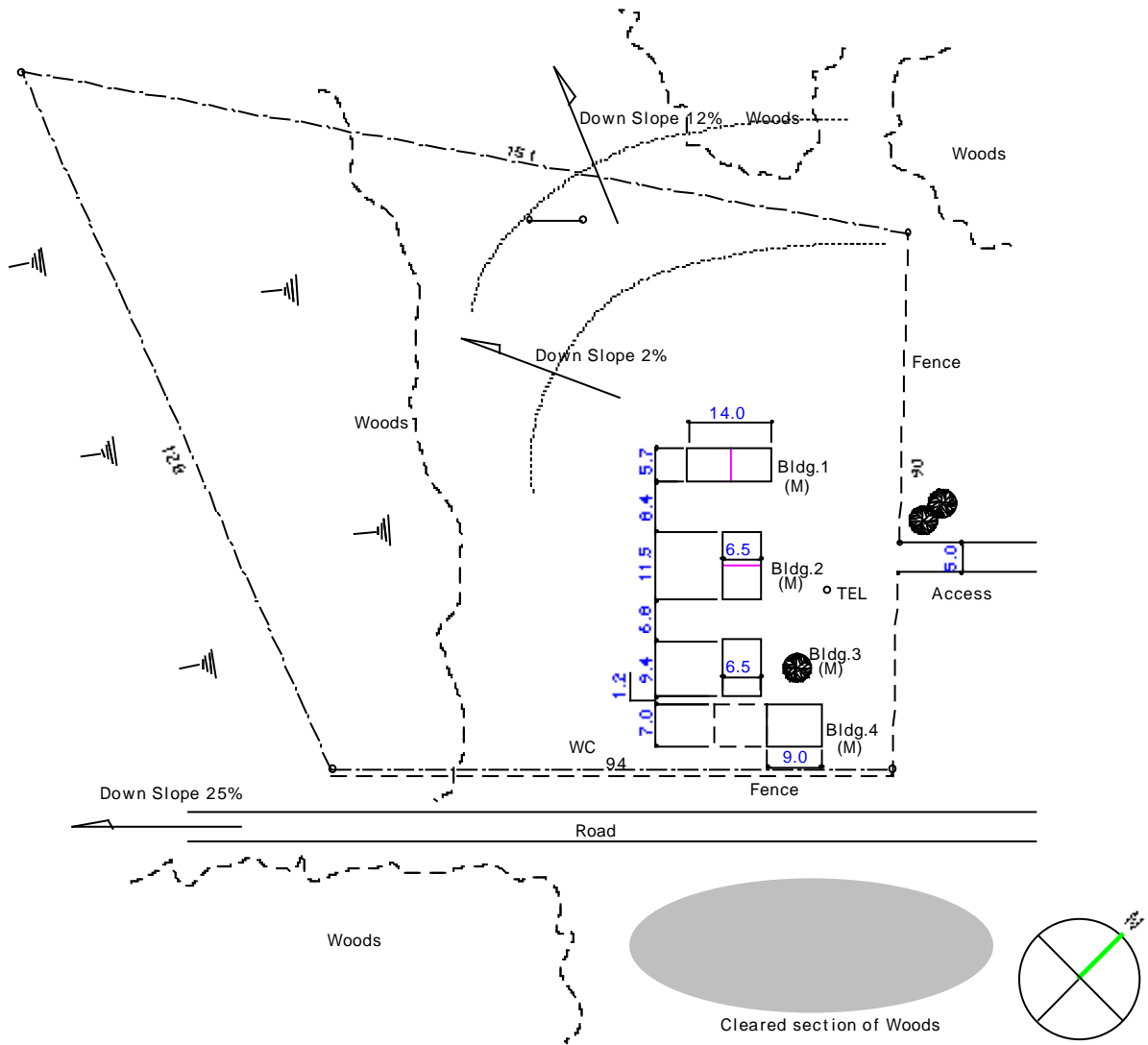
Date of Survey 2000-10-19	District, School Name Flagstaff Mali	Site No. H - 1
------------------------------	---	-------------------



Date of Survey 2000-10-19	District, School Name Flagstaff Butteville	Site No. H - 2
------------------------------	--	--------------------------

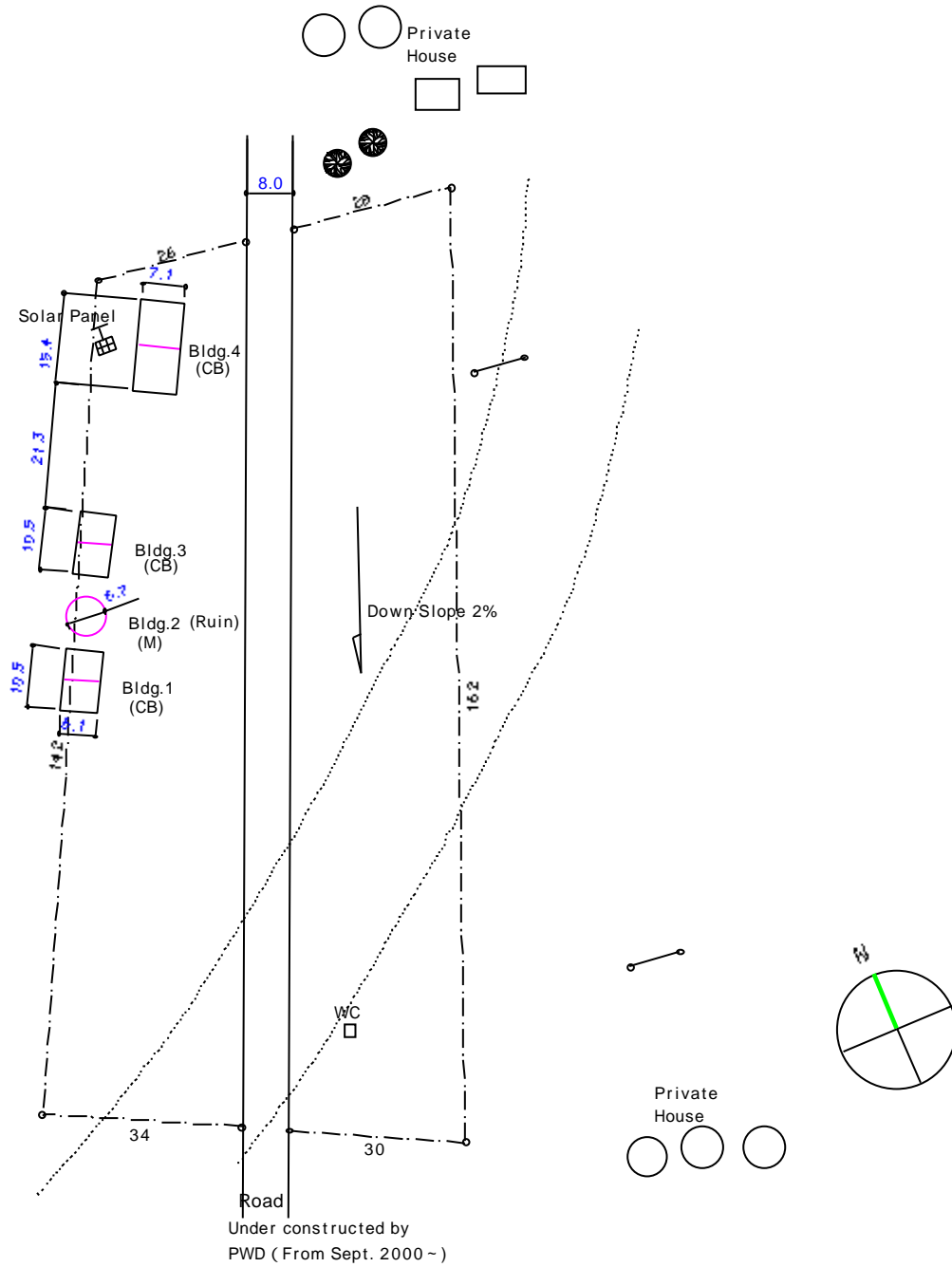


Date of Survey 2000-10-23	District, School Name Flagstaff Gcinilifu	Site No. H - 3
------------------------------	--	-------------------



S:1/1000
SITE CONDITION

Date of Survey 2000-10-24	District, School Name Lusikisiki Cetywayo	Site No. I - 2
------------------------------	--	-------------------



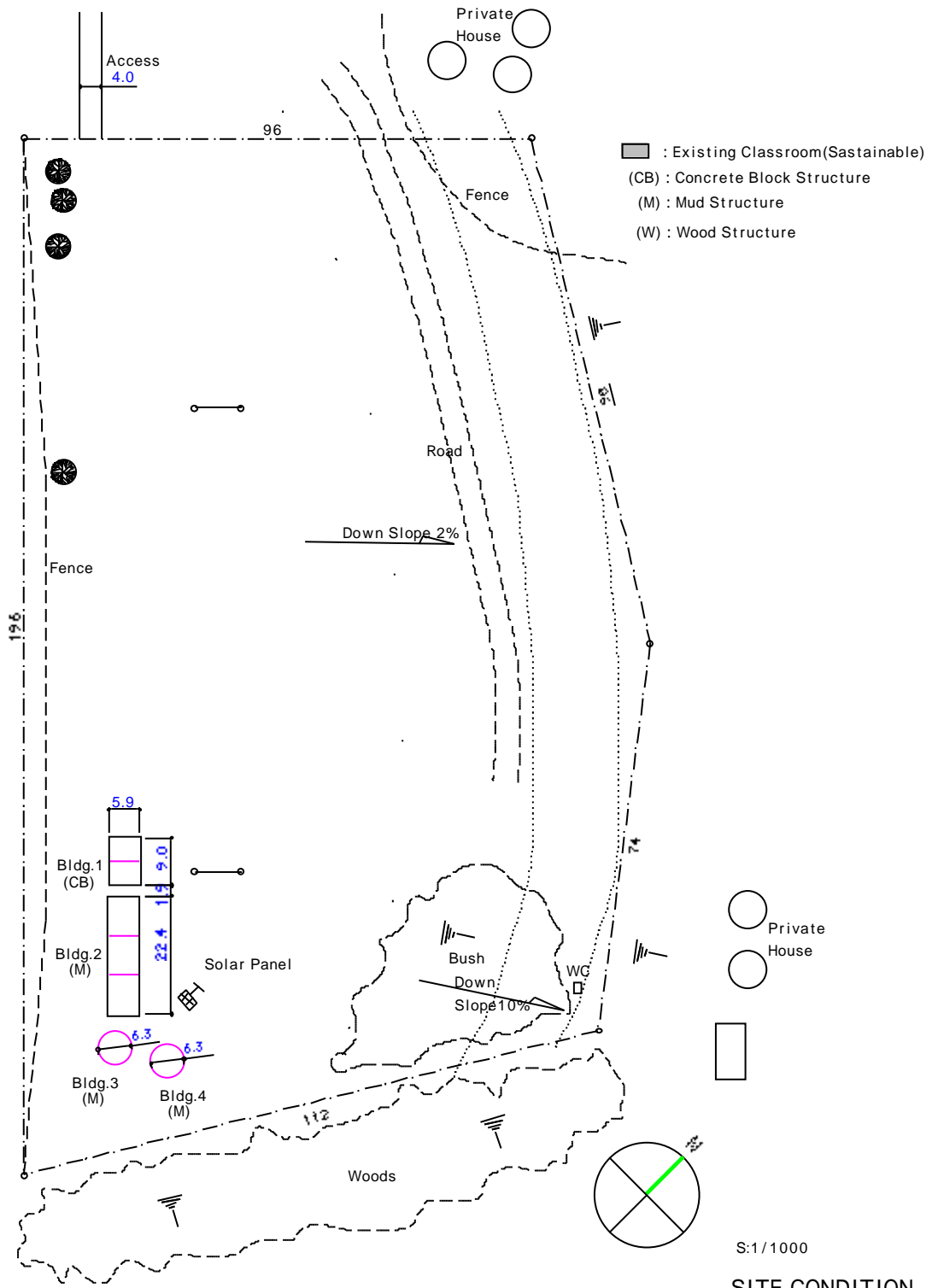
- █ : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure

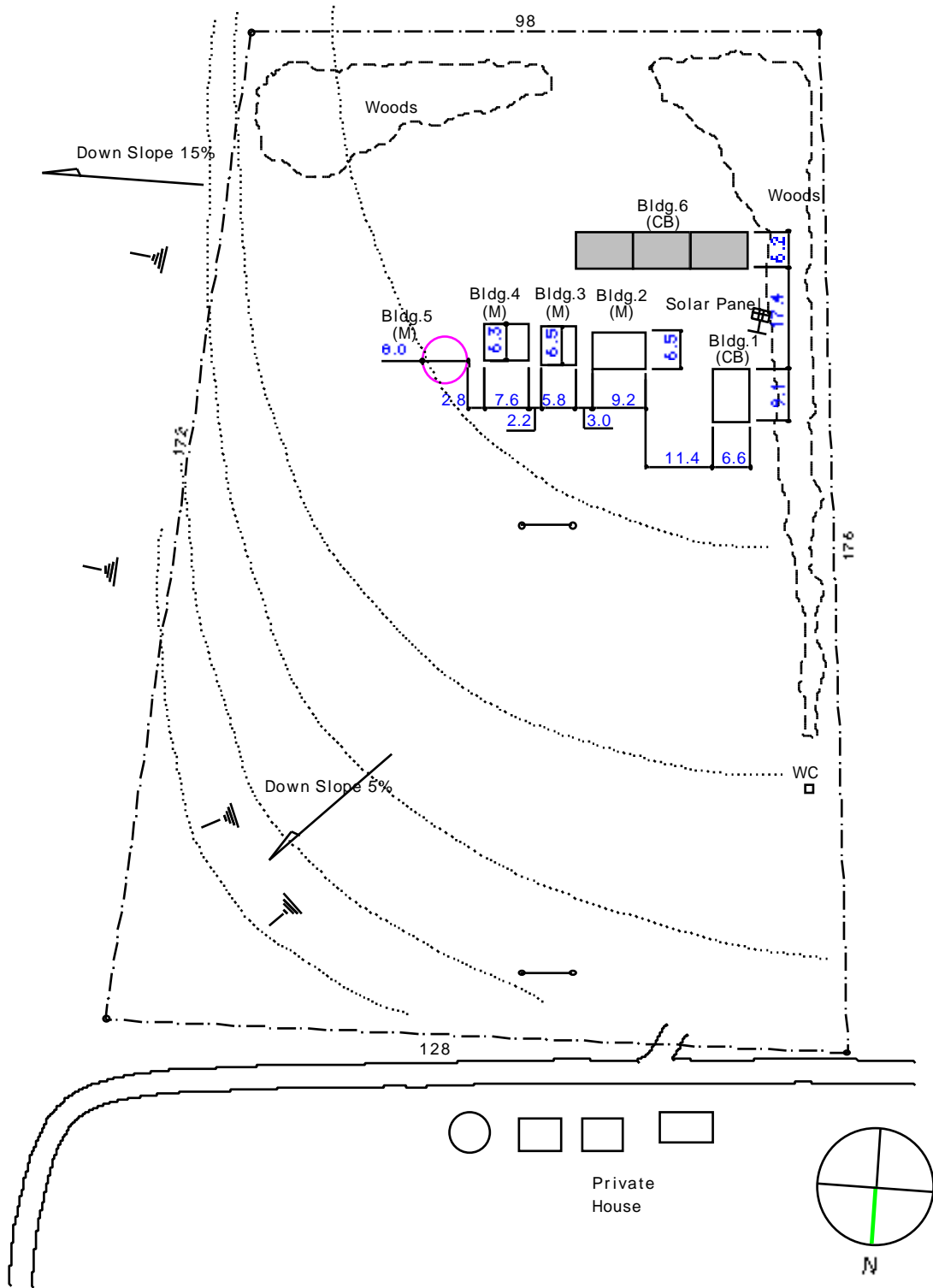
S:1/1000
SITE CONDITION

Date of Survey
2000-10-25

District, School Name
Lusikisiki Mdingi

Site No.
I - 3

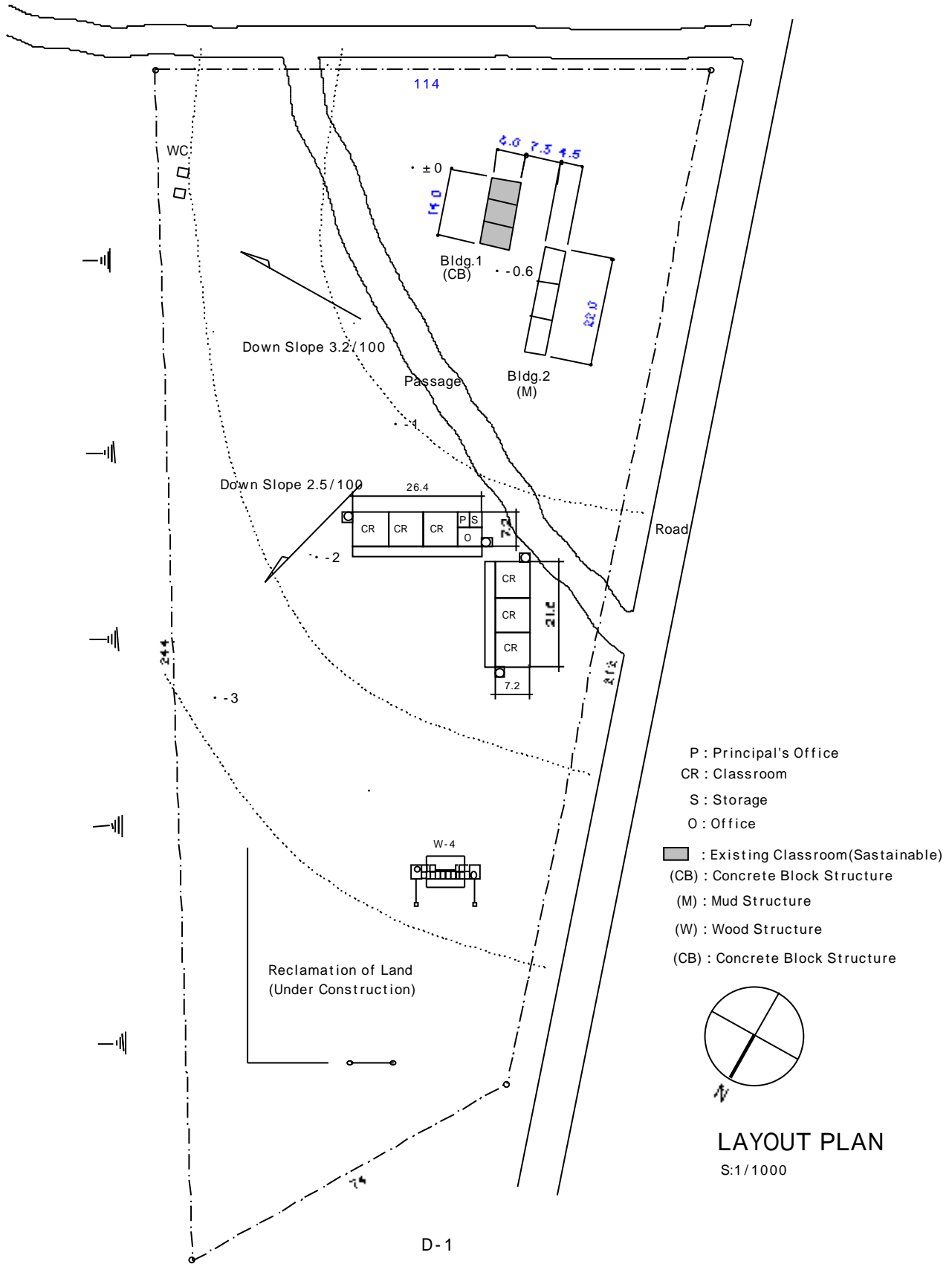


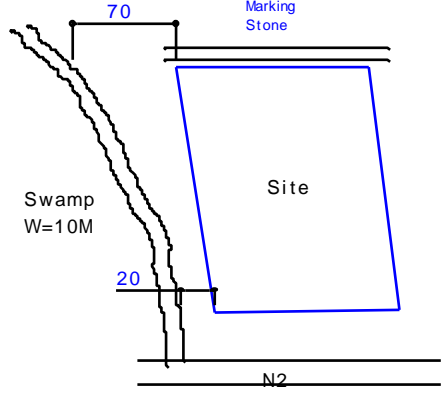
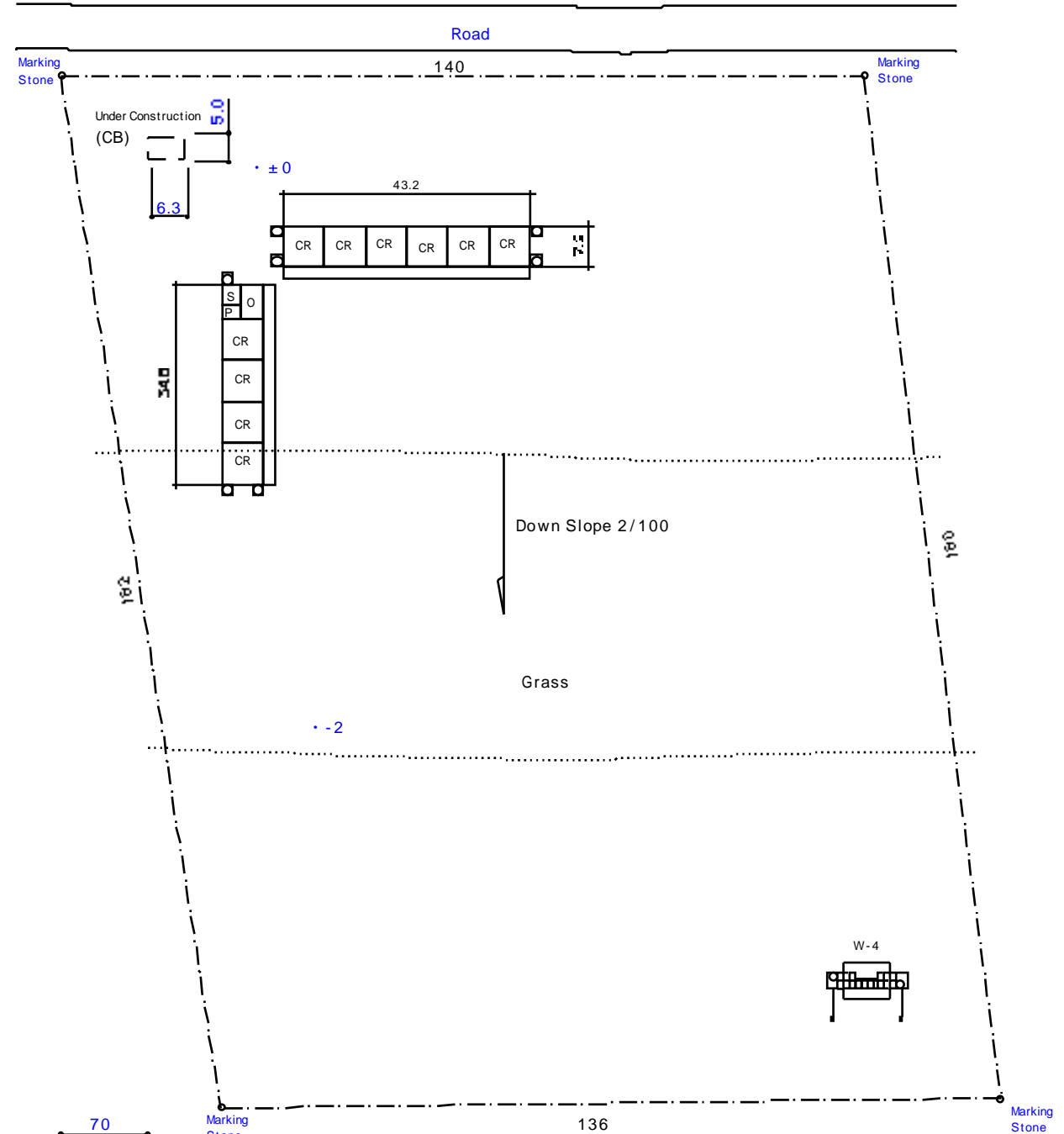


- : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure

S:1/1000

SITE CONDITION



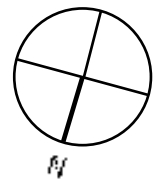


* The site is dotted with ant nests.

- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office

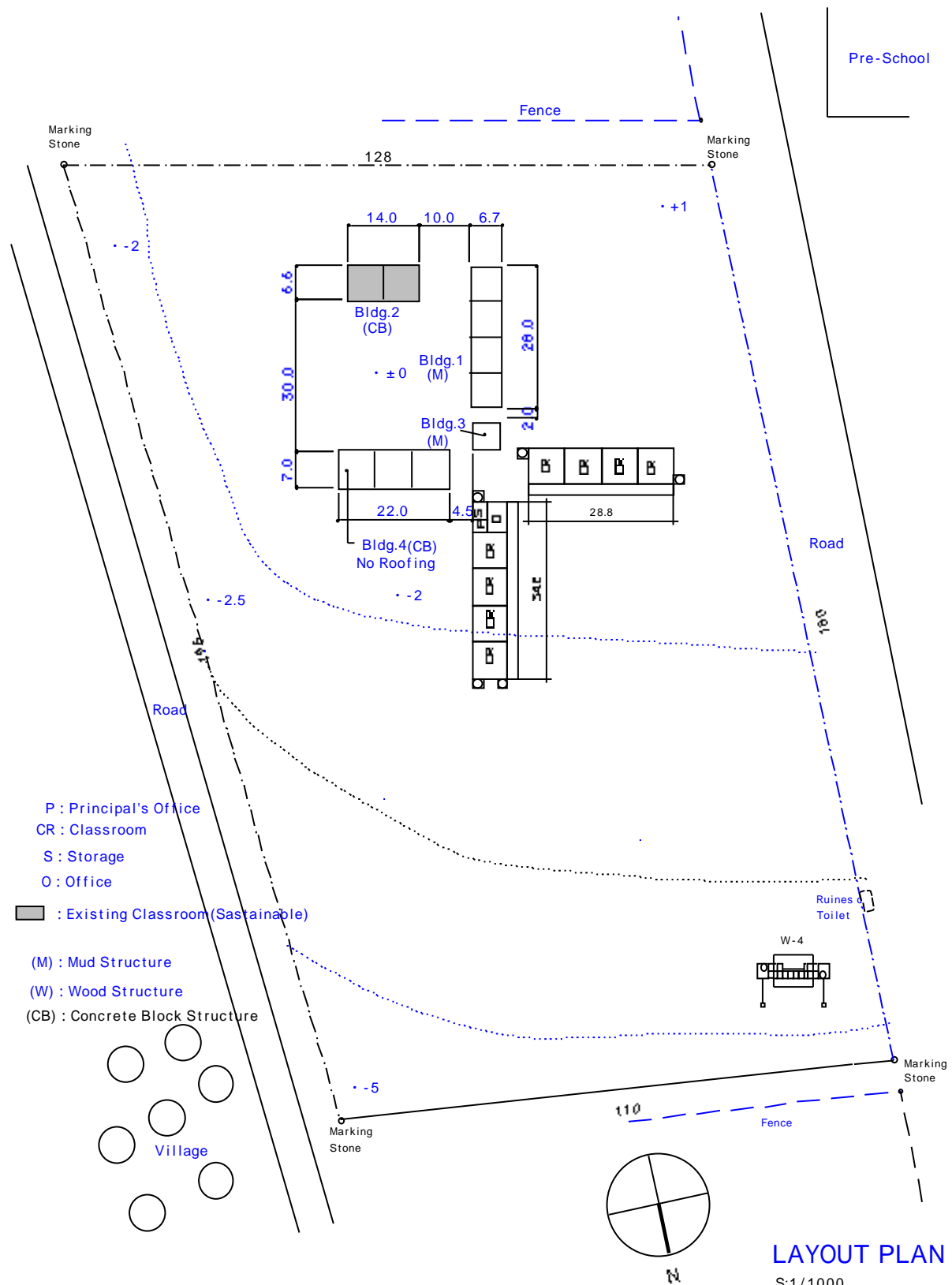
█ : Existing Classroom(Sustainable)

- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure
- (CB) : Concrete Block Structure



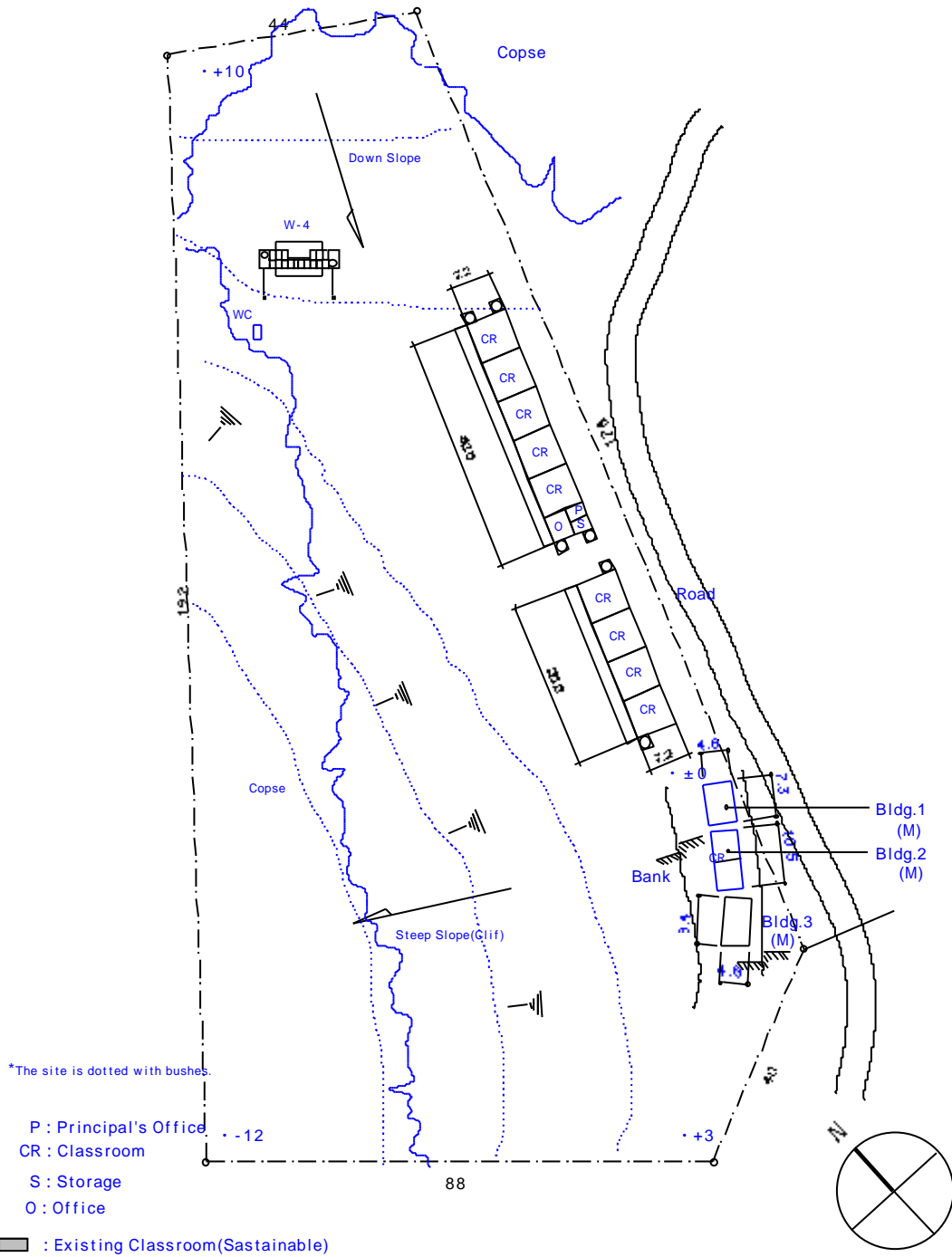
LAYOUT PLAN

S:1/1000



LAYOUT PLAN
S:1/1000

D-3



*The site is dotted with bushes.

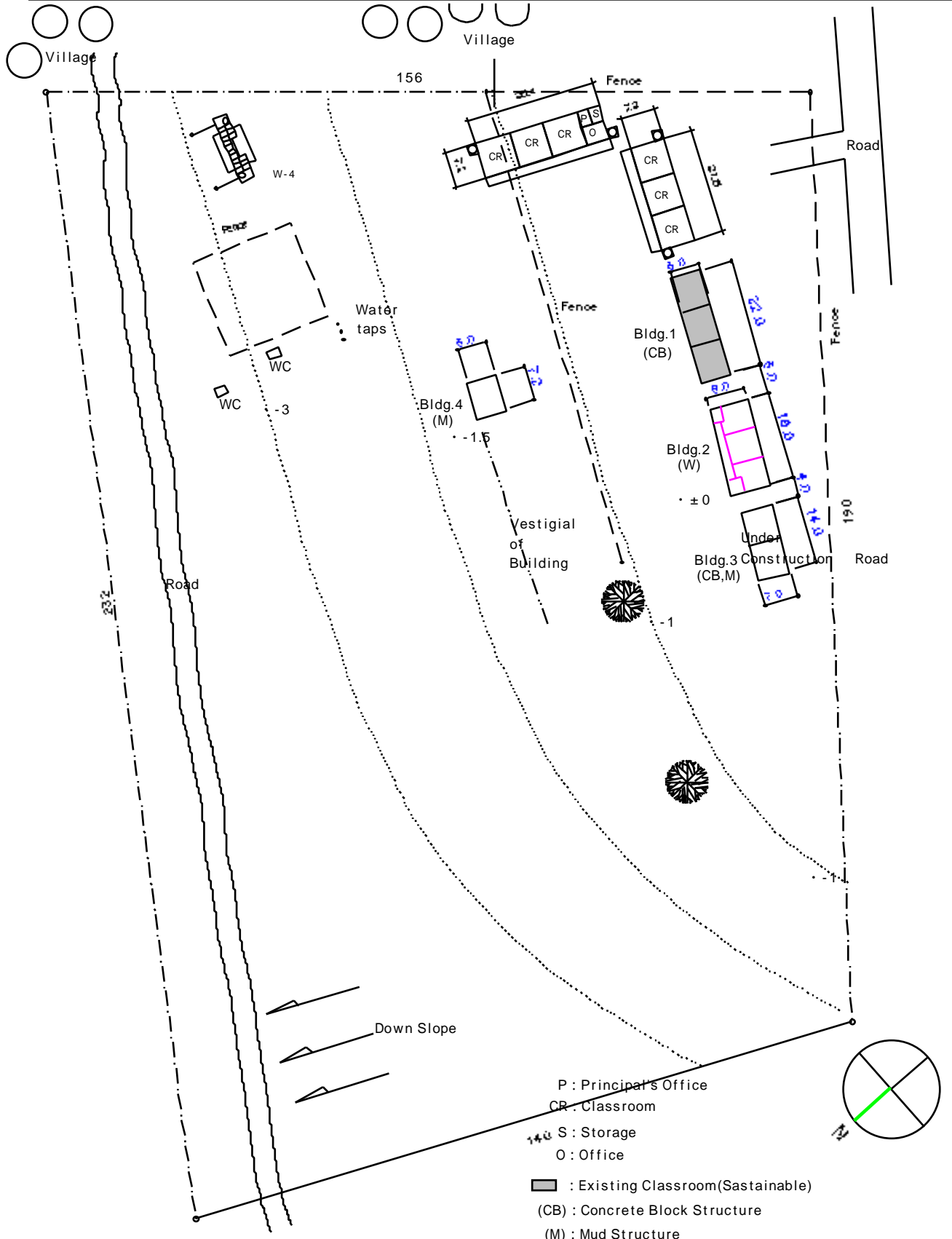
- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office

█ : Existing Classroom(Sustainable)

- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure
- (CB) : Concrete Block Structure

LAYOUT PLAN

S:1/1000

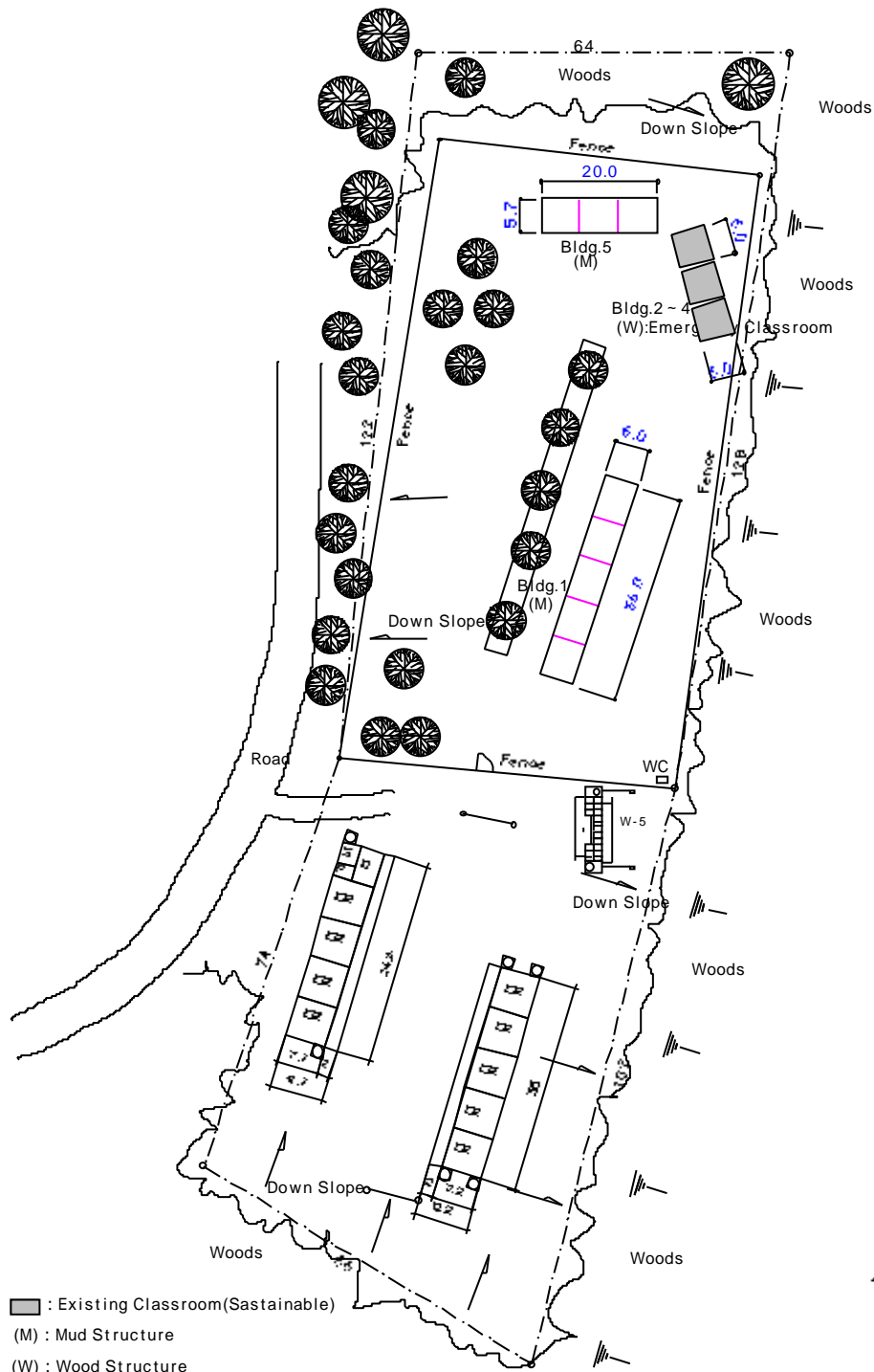


- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office
- █ : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure

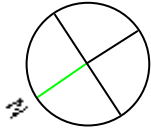
Date of Survey
2000-10-26

District, School Name
Tabankulu Nggane

Site No.
C - 4



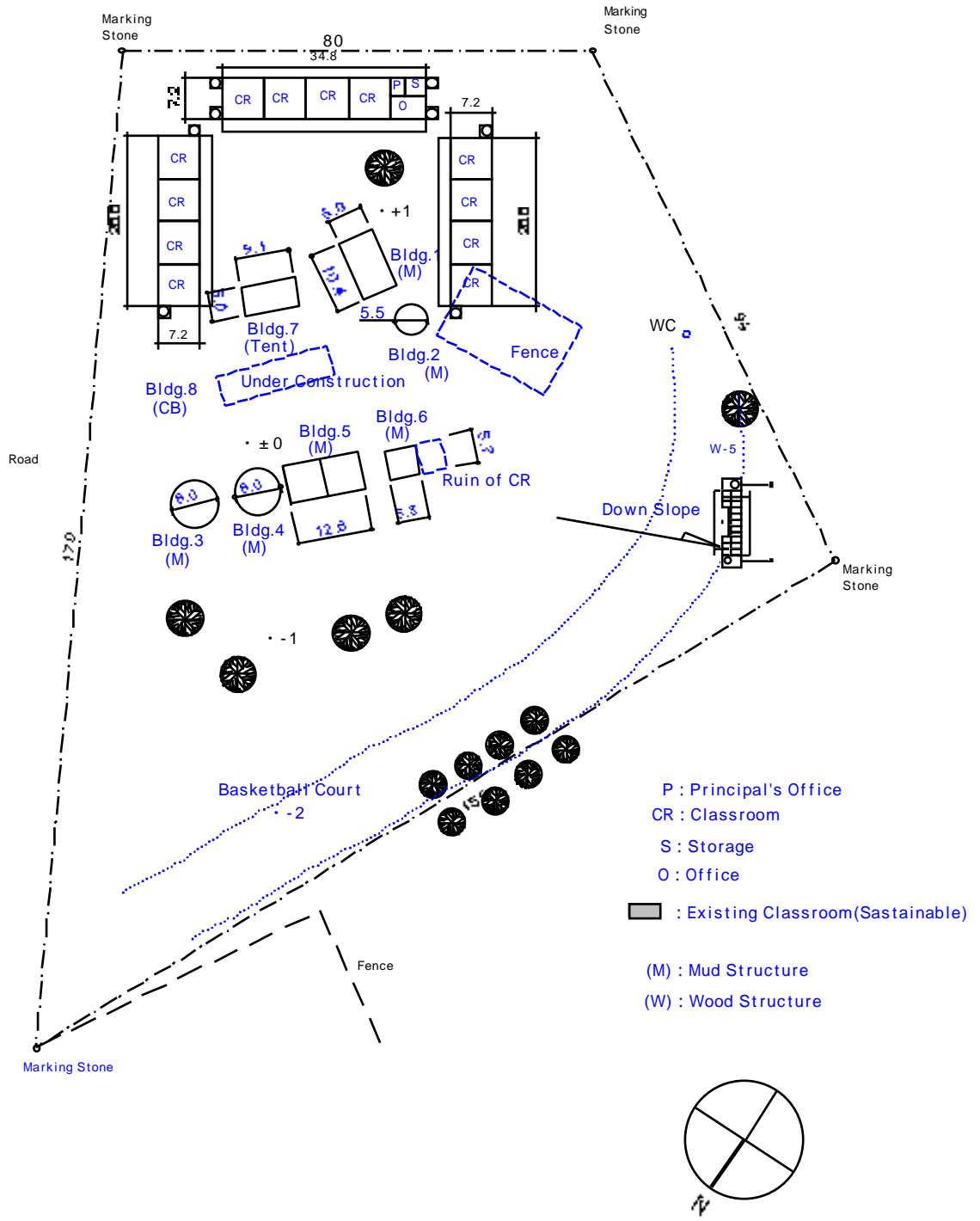
- █ : Existing Classroom(Sustainable)
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure
- (CB) : Concrete Block Structure



S:1/1000

LAYOUT PLAN

D-6



P : Principal's Office
CR : Classroom
S : Storage
O : Office

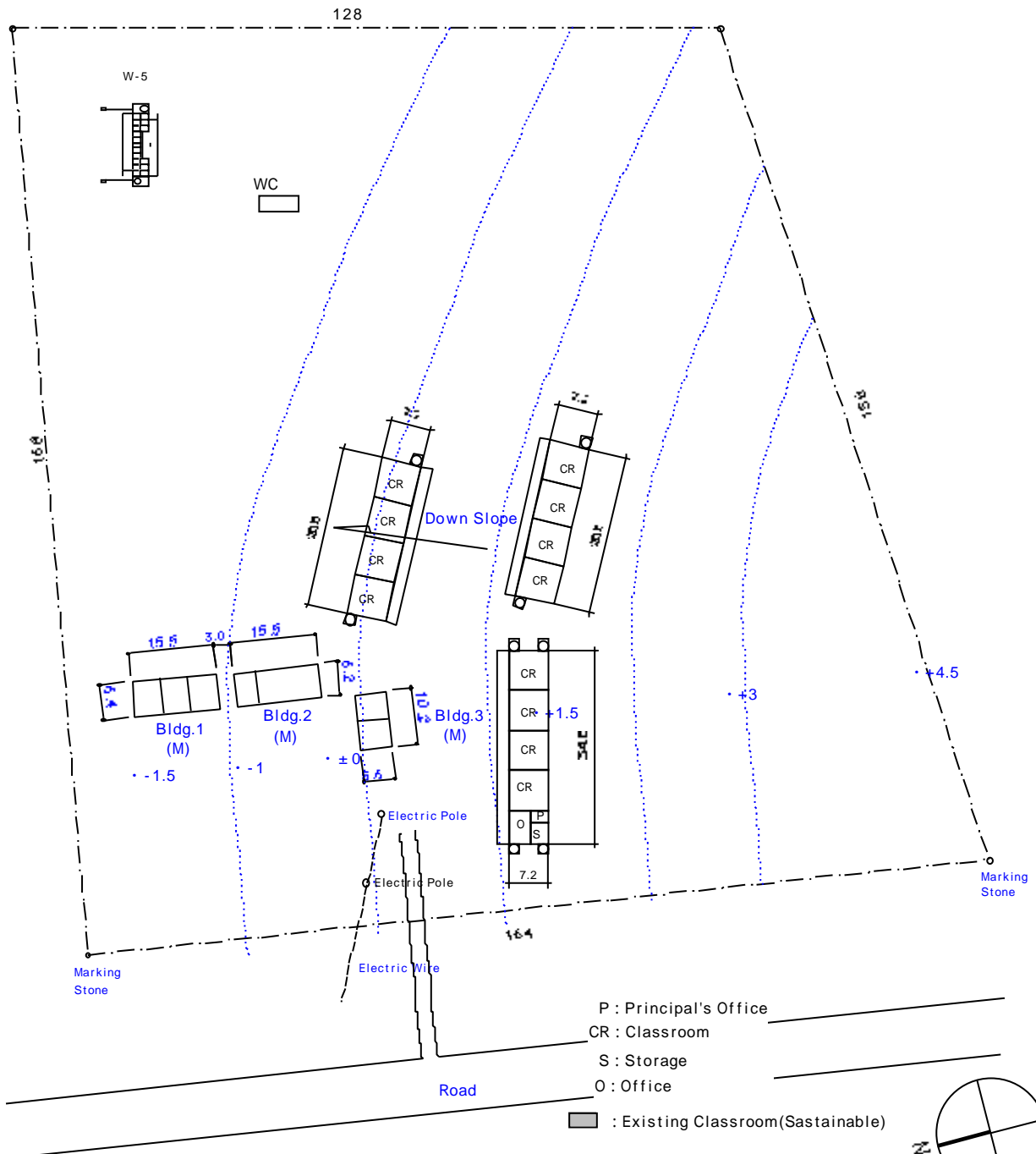
█ : Existing Classroom(Sustainable)

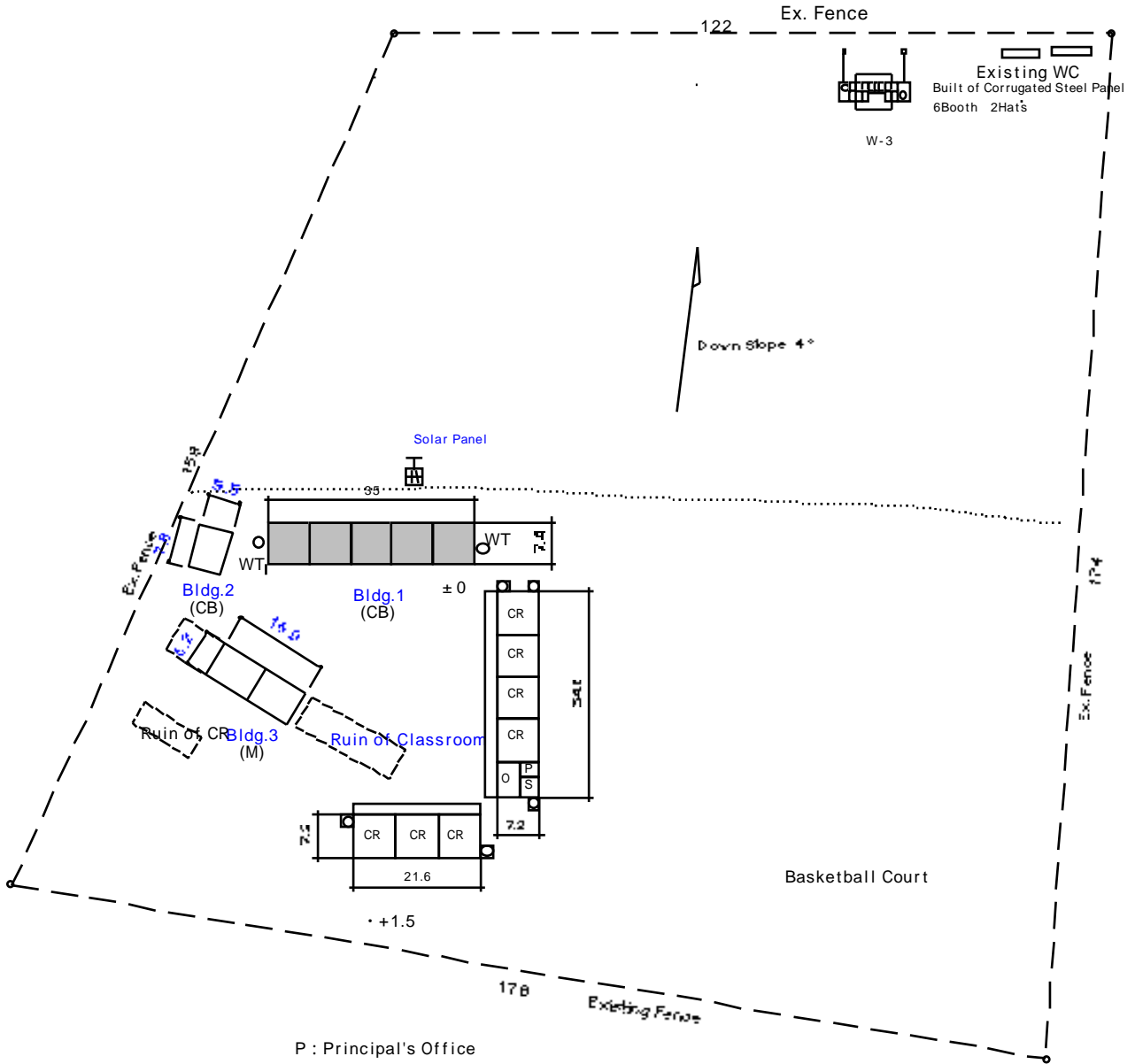
(M) : Mud Structure
(W) : Wood Structure

(CB) : Concrete Block Structure

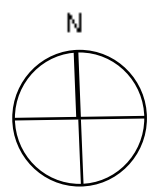
LAYOUT PLAN

S:1/1000

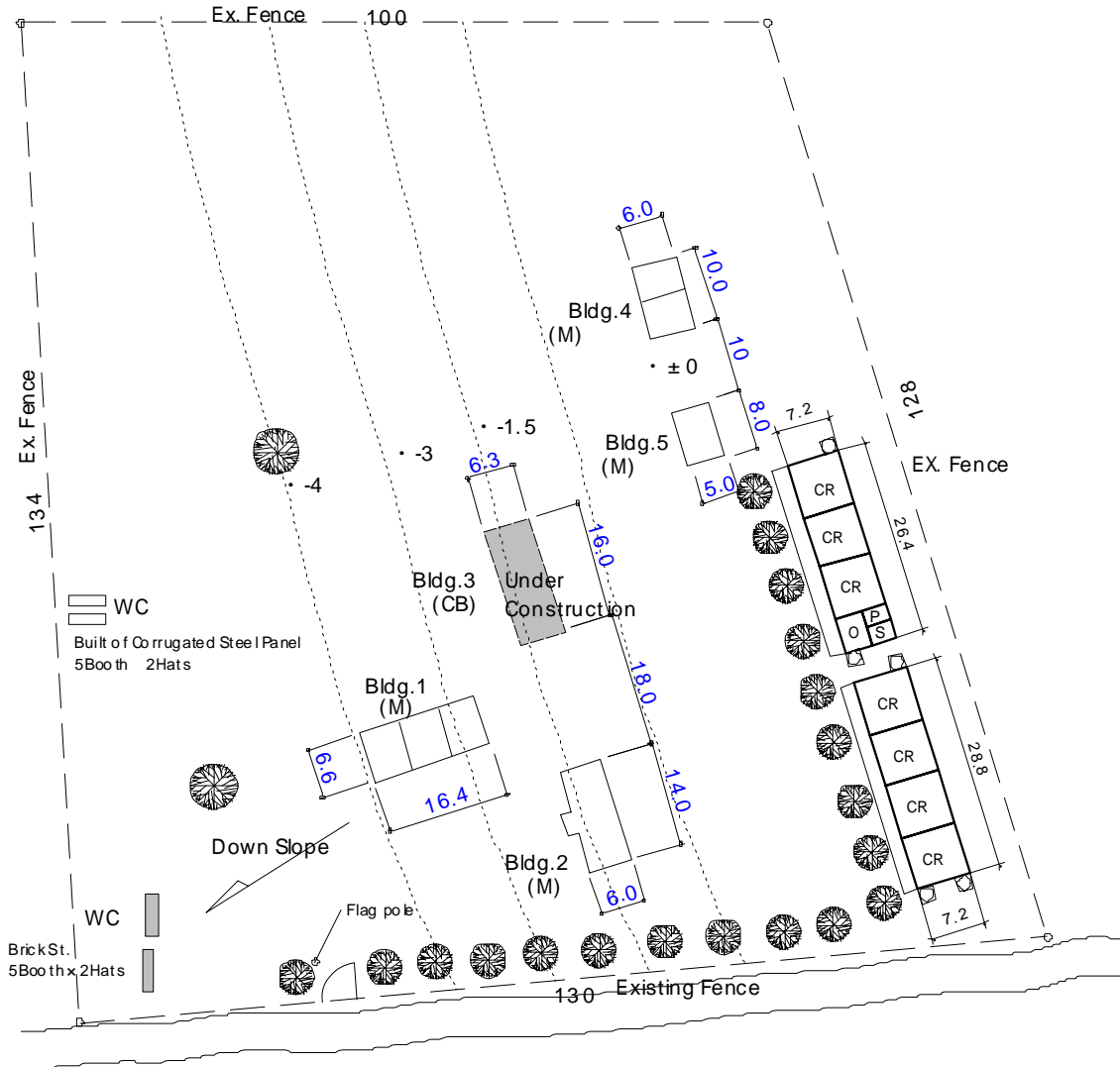




- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office
- : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure



S:1/1000



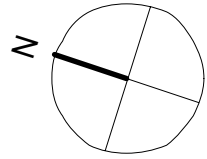
WC
Built of Corrugated Steel Panel
5Booth 2Hats

WC
Brick St.
5Booth x 2Hats

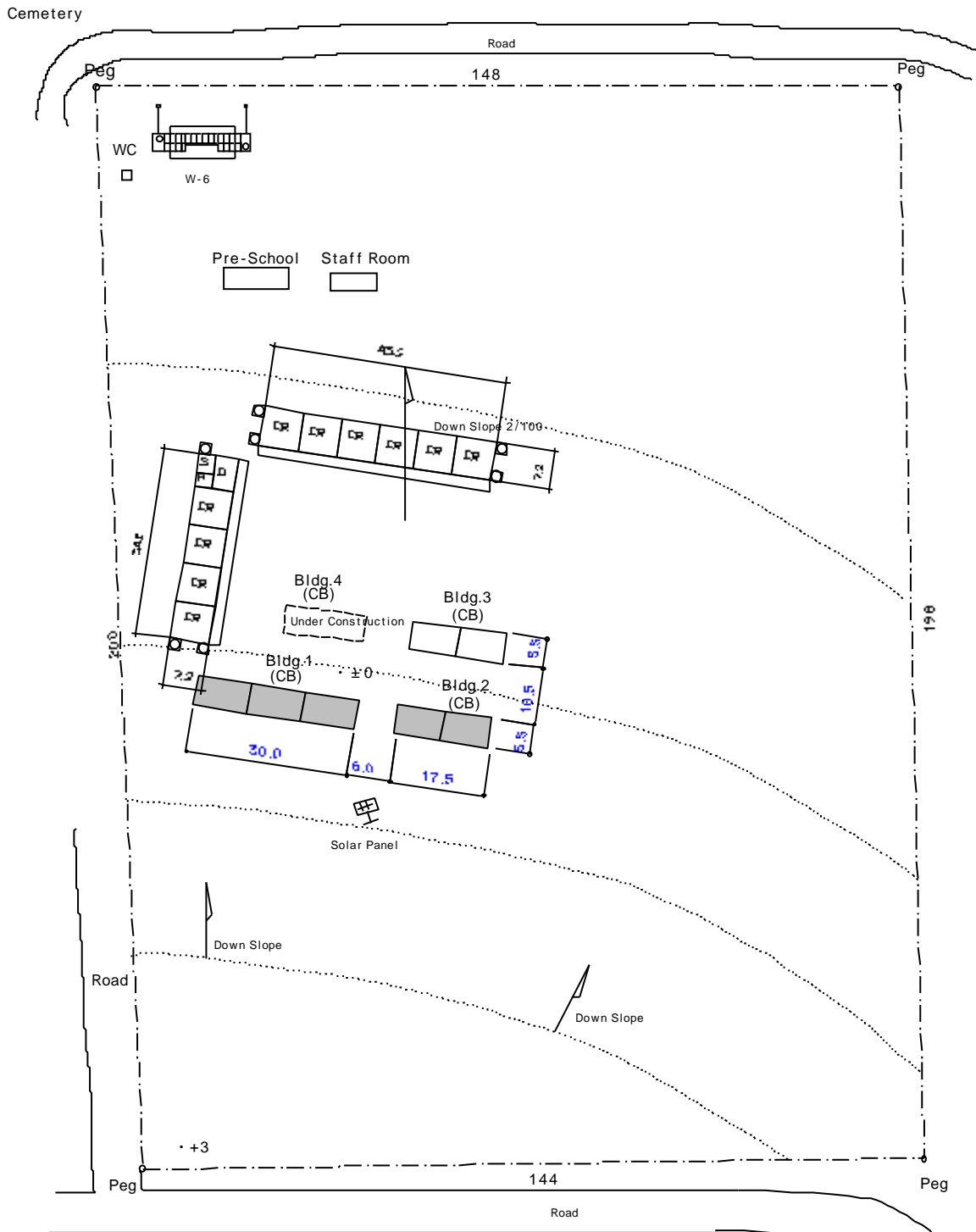
Down Slope

- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office

- : Existing Classroom (Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure

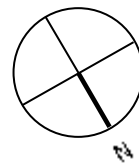


S:1/1000



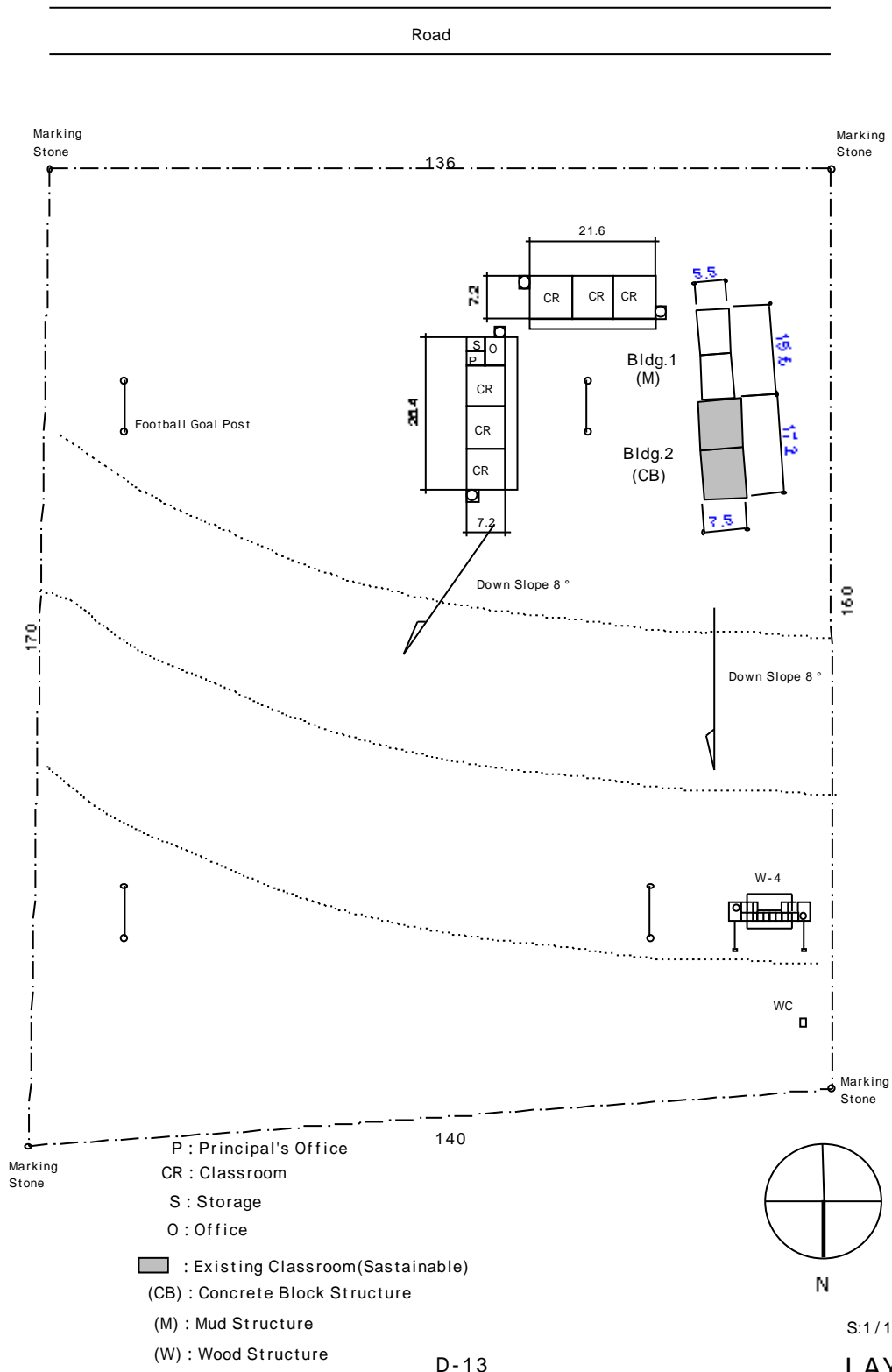
- | | |
|------------------------|-------------------------------------|
| P : Principal's Office | ■ : Existing Classroom(Sustainable) |
| CR : Classroom | (CB) : Concrete Block Structure |
| S : Storage | (M) : Mud Structure |
| O : Office | (W) : Wood Structure |

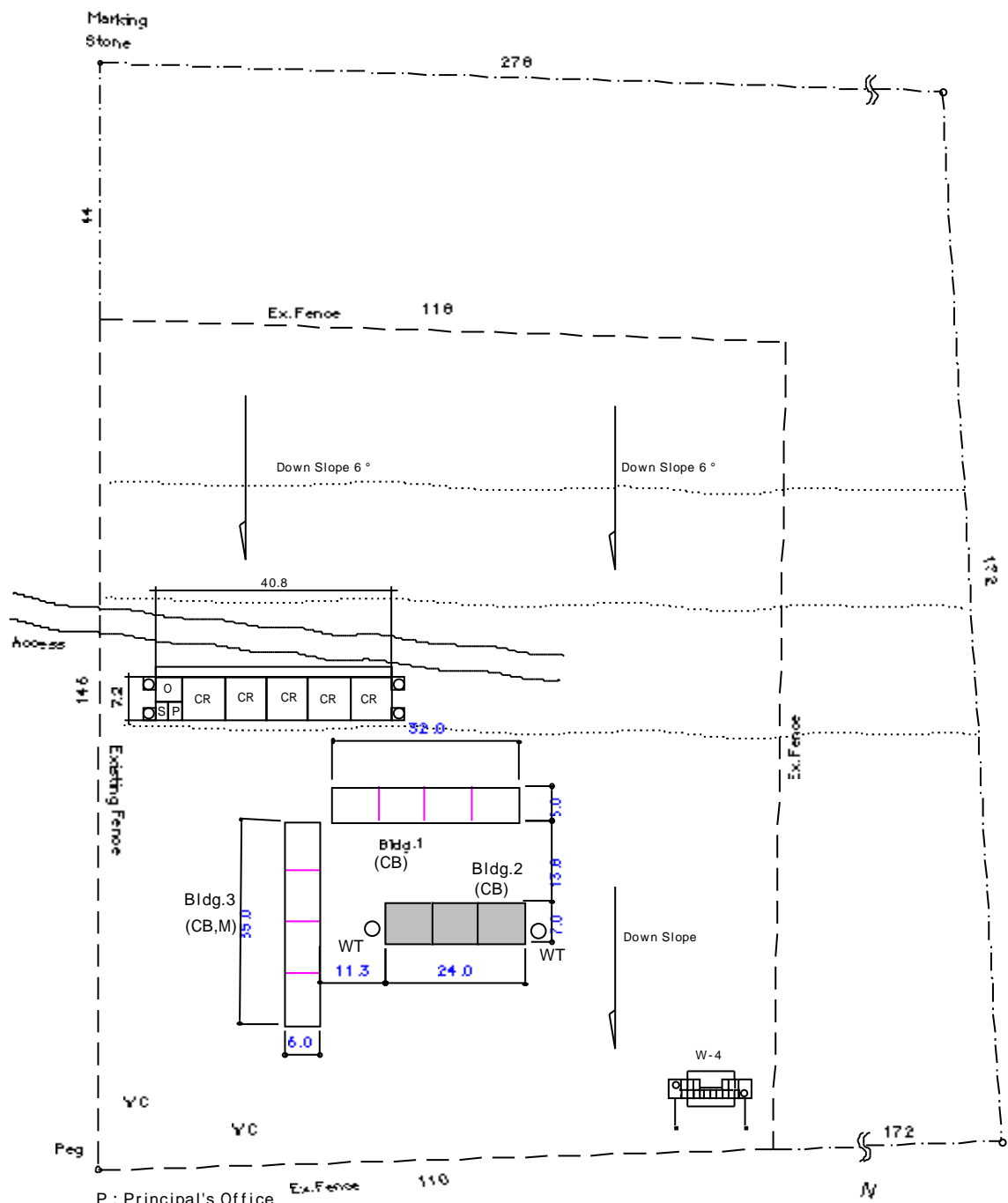
D - 12



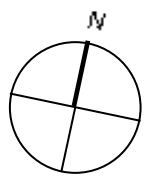
S:1/1000

LAYOUT PLAN

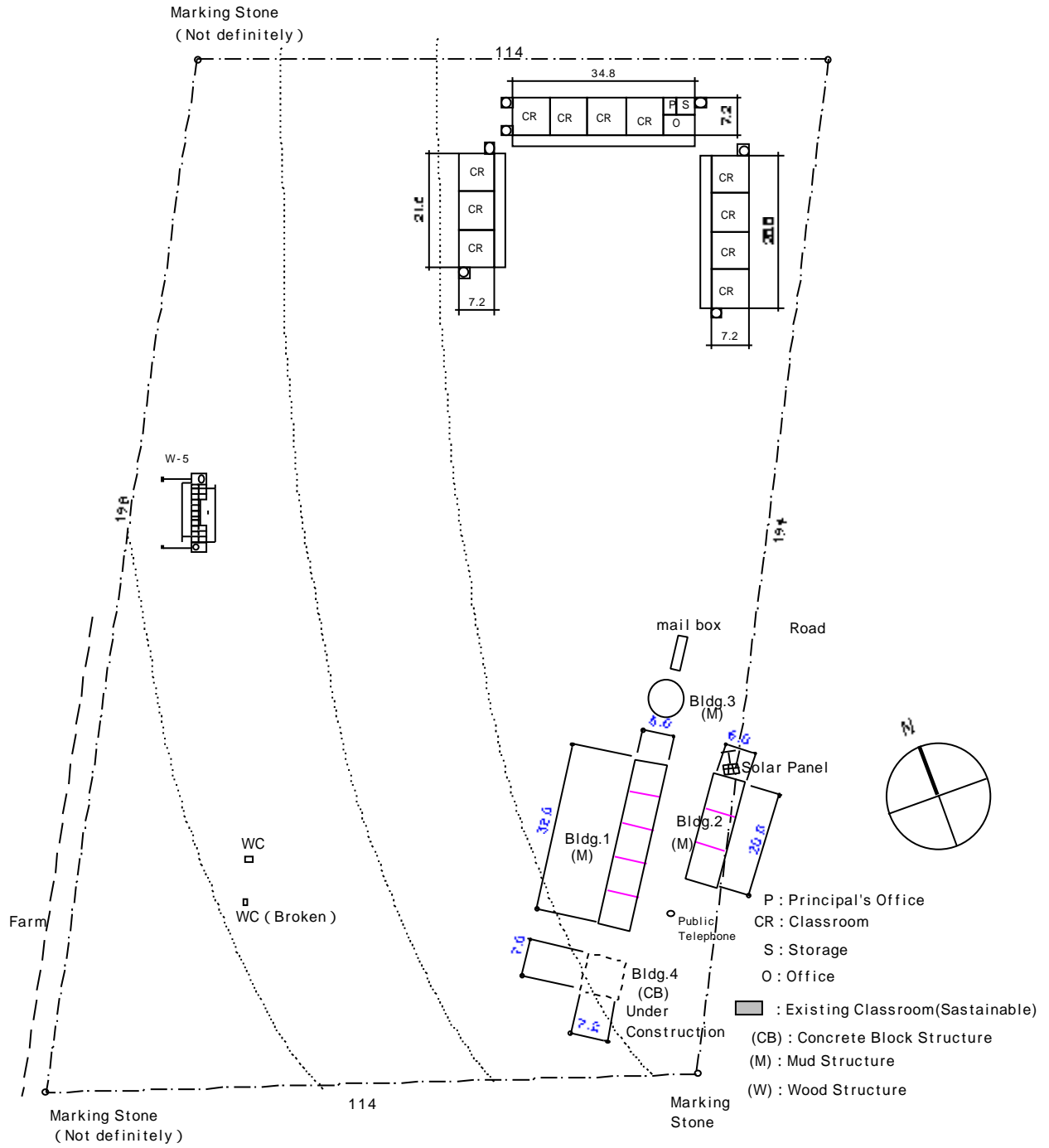


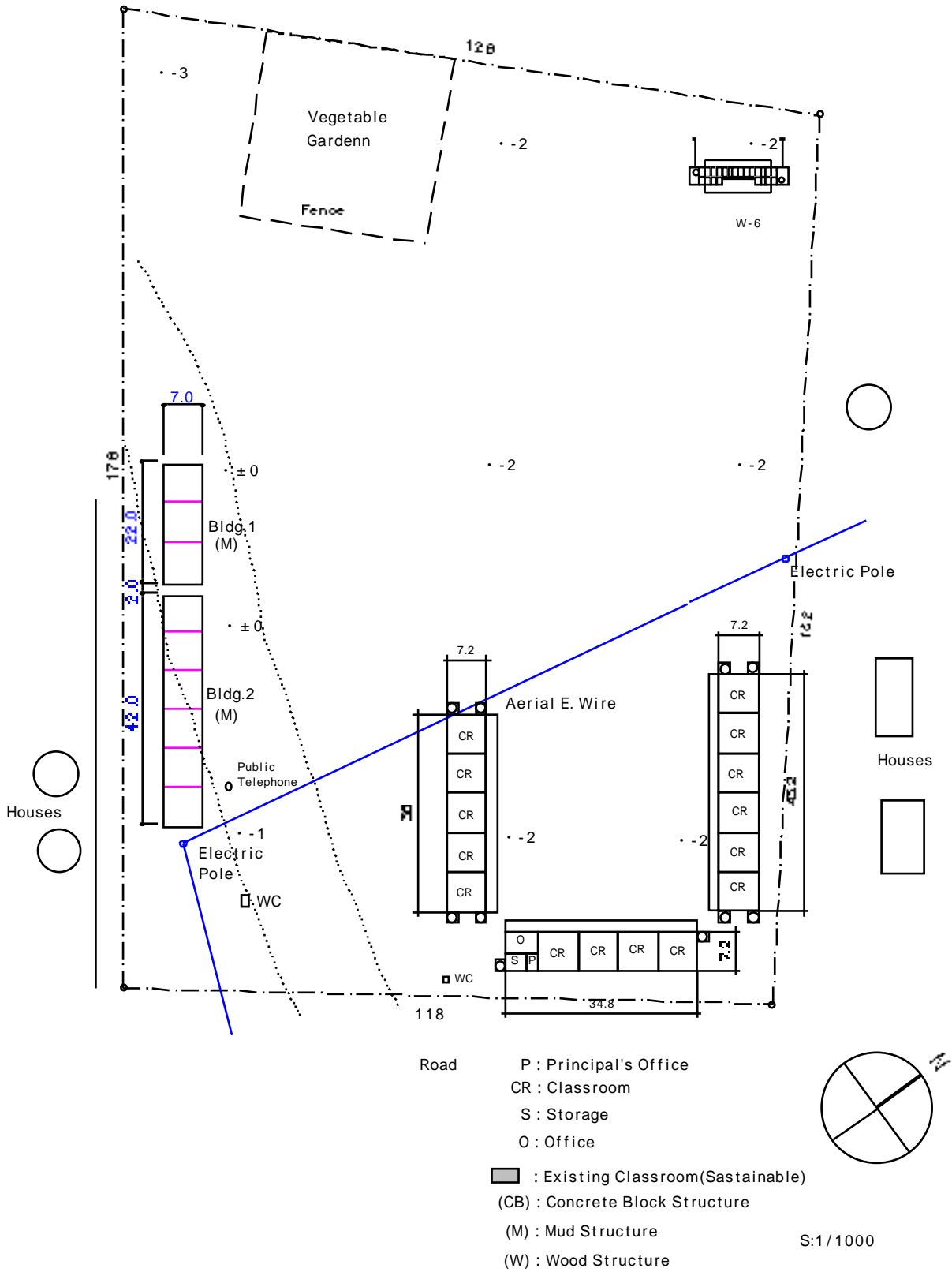


- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office
- : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure



Date of Survey 2000-10-11	District, School Name Bizana Bonda	Site No. G - 1
------------------------------	--	--------------------------

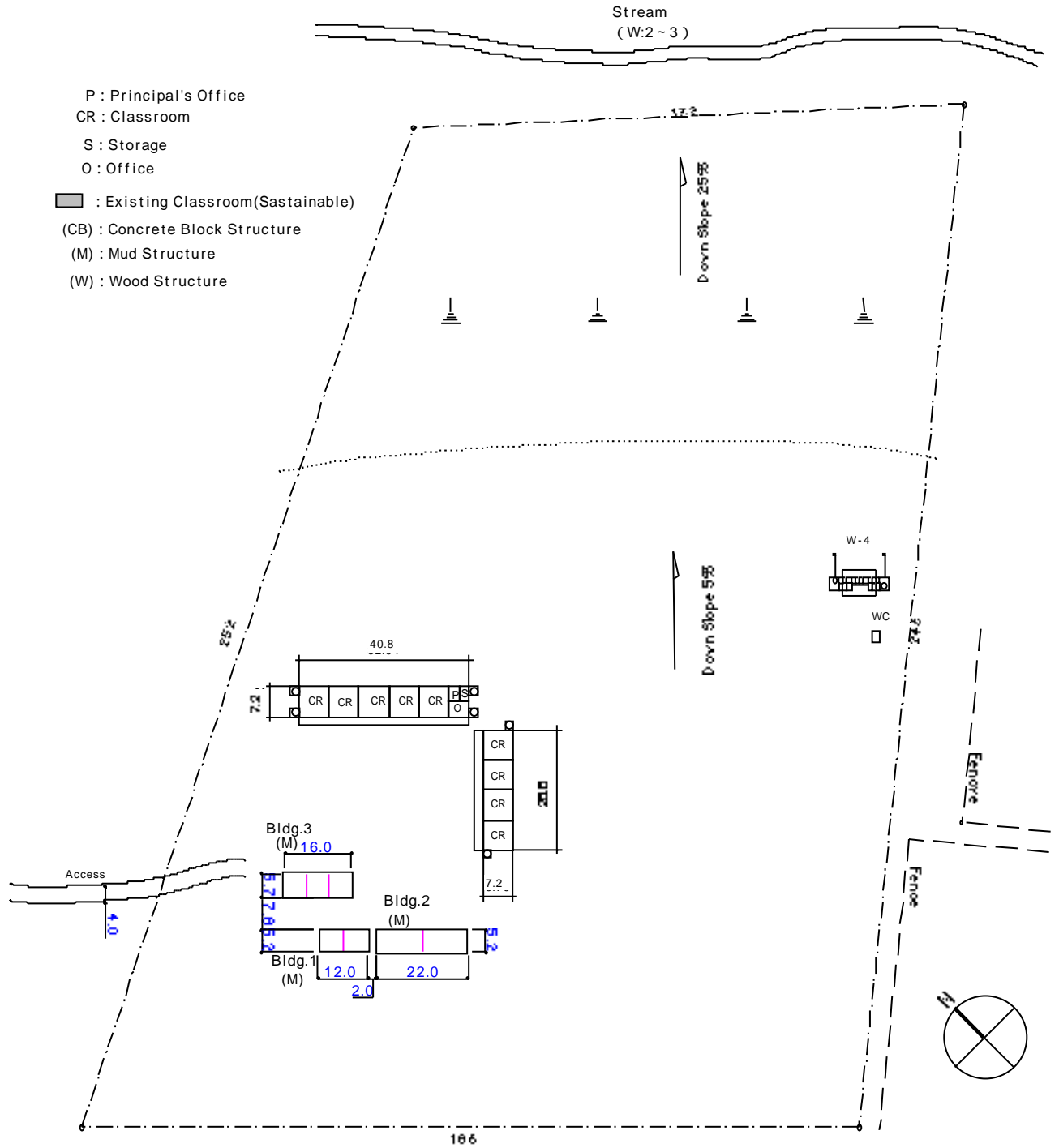




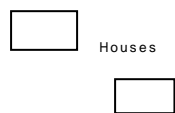
Date of Survey
2000-10-23

District, School Name **Flagstaff Camagu**

Site No. **H-4**

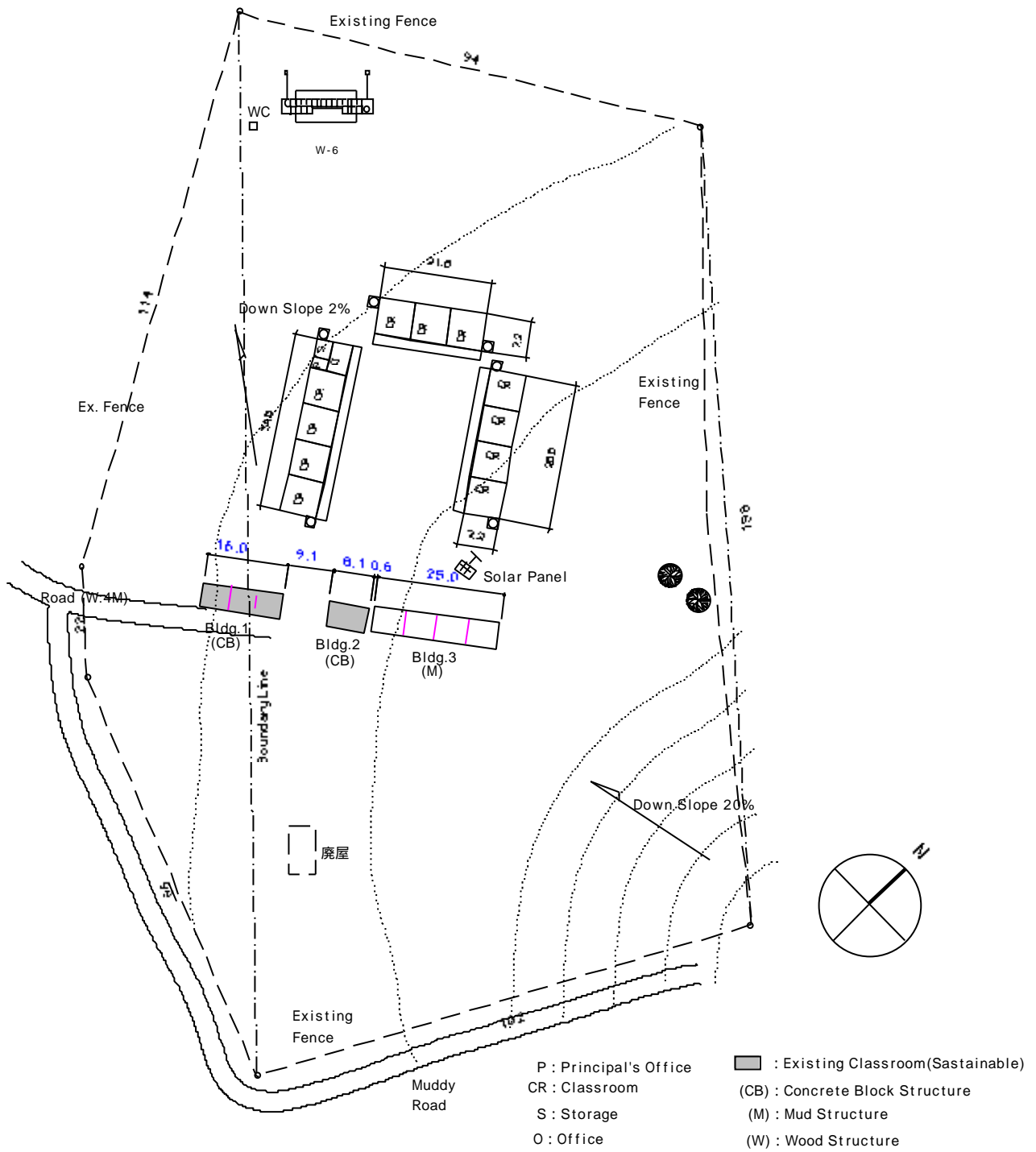


- P : Principal's Office
- CR : Classroom
- S : Storage
- O : Office
- █ : Existing Classroom(Sustainable)
- (CB) : Concrete Block Structure
- (M) : Mud Structure
- (W) : Wood Structure



D-19

S:1/1250
LAYOUT PLAN



対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：A-1 Sigagane JSS

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Singeni Location, Sigidini A/A (Mt. Ayliff District)
2. 地域代表者名	Mr. N.V. Rolobhile
3. 地域の人口	男800人、女900人 計1700人(聞き取りでは約2000人, 男:女=4:6) 男800人, 女1,200人, 計2000人(聞き取り)
4. 社会構造	
A. 経済状況	無職の人が多く、年金生活や、わずかな物売りで生計を立てている。 殆どの家の月収はR 300程度である。 貧困層: 45%(無職), 中間層: 40%, 富裕層: 20%
B. 主要部族と言語	コーサ族が主でソト族がわずかにいるが彼らはコーサ語を理解し、部族の間に摩擦は無い。言語はコーサ語、ソト語と英語
C. 宗教	ローマンカソリック, アングリアン, メソジストなどの宗教グループがあるがグループ間に摩擦は無い。80%はクリスチャンである。
D. ジェンダー	女性は定職を持っていない。彼女達の役割は、子供の世話を見ることである。教育費のことや夫が仕事が無いために時々問題あり。
E. コミュニティ活動	4つのロケ-ションで1コミュニティを形成している。女性は時々集まり、裁縫をしたり、ネックレスを作ったりしている。時にダンスやスポーツも行う。コミュニティ活動には積極的に参加の意志表示するものが多い。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. N.V. Rolobhile			
2. 設立年と建築年	1983年設立			
3. 校舎の被害歴	特に無し			
4. 生徒数		男	女	計
	小学校	97	88	185
	中学校	46	34	80
		143	122	265
5. 最長通学距離	3 km			
6. 教室と学級	教室数	7		
	学級数	9		
	複式学級: 第1学年と第2学年, 第3学年と第4学年			
7. 学校管理委員会 SGB	保護者	校長	教員	生徒
	7	1	2	2
議長は保護者の中から選ぶ, 校長は顧問役、生徒委員は毎年選出、保護者, 教員は2年ごとに選出、生徒の委員は第7、8学年より選出される。学校の維持管理, 基金の集金活動などに積極的に取り組んでいる。				
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール 上級学校 SSSが1校, Hospital Schoolが1校			
10. その他	教育費: (第1~3学年: 10ランド/年) (第4~6学年: 25ランド) (第7~9学年: 30ランド)			
備考	住民集会参加者: 男7人, 女18人			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：C-2 Lower Mnceba

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Tabankulu (Tabankulu District)
2. 地域代表者名	Mr. Philemon Lesoefla
3. 地域の人口	男4000人・女7000人、計11000人(質問紙回答) 平均6人×590所帯=3540人(聴き取り調査)
4. 社会構造 A. 経済状況 B. 主要部族と言語 C. 宗教 D. ジェンダー E. コミュニティ活動	無職の家庭多し、わずかな年金や農業で生計を立てている。 コーサ族が主であるが一部ソト族も住んでいる。教員にはソト族の教師はいない。ソト族の親はコーサ語も話す。第4学年から英語授業。 ローマンカソリック 家庭経営は仕事を持っている男性によって決められている。妻は夫に頼っている。 この地域には5村がある。各村にはそれぞれ小学校とJSSがあり、原則的にはどの学校に行ってもよい。5村で1学校コミュニティを形成している。コミュニティ活動は村のチーフがリードするが、村人の参加意欲はある。学校とよく調和して活動している。土造校舎建設はコミュニティの協力でおこなった。特別な資金が必要な時には役員が集金する。集金額はSGBが決定する。 コミュニティ活動としては選挙、政治講演会を行った。文化的行事は村長の家で行う。これは学校はガラスが割れていて寒く不適當のためである。将来日曜学校や、コンサートなども催したい希望を持っている。また学校を避難場所に使いたい。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. Ngongu			
2. 設立年と建築年	1905年頃に教会内の敷地に設立、1953年に現在地に移動した。 1996年に木造校舎(カソリック教会による)、1997年にコンクリート・ブロック校舎を州が建てた。			
3. 校舎の被害歴など	この村には落雷事故が多く、今年も2人が亡くなっている。			
4. 生徒数		男	女	計
	小学校	144	150	294
	中学校	71	85	156
		215	235	450
5. 最長通学距離	5 km			
6. 教室と学級	教室数	9		
	学級数	9		
	複式学級は無い。			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	2	2
	委員は選挙で決まる。議長はコミュニティが指名する。年に4回会議を開き、学校基金を決めたり集金活動を行い、修理、維持管理を行っている。			
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール 保健局管理の園が1校ある。約100人のうち、6歳児は30人いる。 上級学校 SSSは本校から5 kmのところの1校ある。職業高校は無い。 進学率は48%			
9. その他	教科書は生徒一人一人は持たない。正規の教科書は各学級、科目で10冊くらいしかなく、学校で管理し、足りない分は手作りしている。			
備考	集会参加者：男20人、女40人、計60人。			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：D-3 Qoqa JSS

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Mvuzi A/A(Mt. Frere District)
2. 地域代表者名	Mr. M.Makaula
3. 地域の人口	男1864人、女2662人、計4526人(質問紙回答)
4. 社会構造	
A. 経済状況	貧困層：25%?(15%) 中間層：80% 富裕層：5%という回答あり。 平均の月収はR900であり、他の地域より豊かな収入あり。農業が主。
B. 主要部族と言語	すべてコーサ族。
C. 宗教	メソヂスト、アングリアン・チャーチ、サルエイション、アポストリック、オランダ改革教会など多数の宗派があるが、村人は殆どクリスチャンである。
D. ジェンダー	女性が家庭を支えている。男女で補い合っている。
E. コミュニティ活動	学校基金、建設基金を設けている。教室や窓の修理や床の修理をした。 また就学前教育、文化活動、移動診療所などにも取り組んでいる。
F. その他	日本からのプロジェクト学校建設はいつ開始されるのかの質問あり。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. Elphis Lungalo			
2. 設立年と建築年	N.A.			
3. 校舎の被害歴	N.A.			
4. 生徒数		男	女	計
	小学校	156	185	341
	中学校	70	74	144
		226	259	485
5. 最長通学距離	3km			
6. 教室と学級	教室数	9		
	学級数	9		
	複式学級は無い。			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	3	2
	委員は選挙で選ばれる。			
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール			
	上級学校			
	本校より3km離れてZibokwana SSSがある。			
9. その他	教育費 G1~3:R2.7、G4~6:R10、G7~9:R12			
	Mvuzi村には次の4つの地区がある。 Buwa Mbonzeni Qunubeni Xolo			
備考	集会参加者:男13人、女55人			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：E-1 Mnceba JSS

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Mnceba Location(Maluti District)
2. 地域代表者名	Mr.M.Ngoqo
3. 地域の人口	男800人, 女1,200人計2000人(質問紙回答)
4. 社会構造	
A. 経済状況	貧困層：20% 中間層：70% 富裕層：10% ここでいう貧困層は教育費無く、制服無く、子供が栄養失調状態の家庭、中間層は分担金が払え、制服が買え、健康な家庭、富裕層はごくわずかな人であるが、小さな店を持ち、時に学校に寄付のできる人である。 平均家庭収入はR250/月。
B. 主要部族と言語	コーサ族と南ソト族のグループがある。彼らの間に争い事は無い。
C. 宗教	宗教グループにはアングリカンス、ローマンカソリックス、メソジスト、ナザレン・アポストリック・チャーチ派などがあるが彼らの間に摩擦は無い。
D. ジェンダー	この村では女性の多くが家計を担っている。彼女達は家事、育児などで働き親としての責任を果たしている。男女間は協力的でよい関係にある。
E. コミュニティ活動	コンサートや伝統・種族ダンスを異なる民族により協力して行っている。 コミュニティはボランティアで教室建設やトイレを作った。学校の維持管理はSGBが主体で学校基金などを設けて行う。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms.B.U.Nonguwadi			
2. 設立年と建築年	1988年設立、翌年から毎年校舎が増築され'96年に庇のある教室ができた。5棟10教室完成。1棟は校長室、教員室、倉庫がある。			
3. 校舎の被害歴	1999年雹や強風により校舎の一部が破壊された。1人死亡11人負傷。			
4. 生徒数	男	女	計	
	小学校	126	97	223
	中学校	28	49	77
		154	146	300
5. 最長通学距離	3 km			
5. 教室と学級	教室数	10	管理室含む	
	学級数	9		
	複式学級無し			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	2	2
	議長は保護者の中から、生徒委員は第8学年生			
8. 就学前教育と上級学校	村には小学校が1校、JSSは本校のみ。 プレスクール 上級学校 進学率は50%			
9. その他	教育費:第1~第3学年はR12、第4~第6学年はR25、第7~第9学年はR40。			
備考	集会参加者：男10人、女17人、計27人			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：F-1 Jongisizwe SPS

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Ezinqonyaneni A/A (Mt.Fletcher District)
2. 地域代表者名	Mr. W.M.Mbange ni
3. 地域の人口	男700人, 女1300人, 計2000人(質問紙回答) 平均7人×500所帯=3500人(聞き取り)
4. 社会構造	
A. 経済状況	殆ど無職で、全て貧困層である。農業や小さな店を営んでいる家もある。老人年金による生活。家庭の平均収入はR500/月。
B. 主要部族と言語	コーサ(XHOSA)族80%、ソト(SOHTO)族10%、プチ(PHUTI)族5%、ヒルビ(HIHLBI)族5%が住んでいる。コーサ族の人は他の種族の言葉を知らないが、他の種族の人はコーサ語を理解できる。種族間に争いはない。学校では第2学年から英語授業がある。
C. 宗教	ほとんどがクリスチャンである。
D. ジェンダー	家庭は100%主婦が支えている。男性は部分的にはリードしているが、女性ともよい関係を保っている。
E. コミュニティ活動	異なったグループからなる文化活動班がある。サッカー、聖歌隊など。
F. 地域内の他の援助	R. D. Pによる3教室の建設 E. D. Hによる垣根建設

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. W. M. Mbange ni			
2. 設立年と建築年	設立は1980年。教室の建設は1978年から始まり、1998年までに現在の教室が完了。州政府の予算のもの3教室、コミュニティの建設8教室。			
3. 校舎の被害歴	強風のため校舎の一部が破損を受けることがよくある。			
4. 生徒数	男	女	計	
	小学校	84	100	184
	中学校	33	34	67
		117	134	251
5. 最長通学距離	3 km			
6. 教室と学級	教室数	11		
	学級数	9		
	複式学級無し。			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	2	2
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール 上級学校 上級学校への進学率は70%(男女50%)			
9. その他	本校はSPS(Senior Primary School)の名称であるが、実態はG1~G9までの学年がありJSSと同じである。 本校へは4村(Location)より通学、他にJPS(小学校)JSS(小中学)あり。			
備考	集会参加者:男12人, 女13人, 計25人			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：G - 1 Bonda (Bizana)

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Amantshangase Location (Bizana District)
2. 地域代表者名	Mr. D. Z. Niola
3. 地域の人口	男200人, 女400人, 計600人 (質問紙回答)
4. 社会構造	
A. 経済状況	家庭の平均収入はR500/月。 貧困層とは職と食が無く教育を受けていない人々である。中間層とは子供を育て、食物を得られる階層である。富裕層とは前者より金を持ち、必要なものを得るのに問題の無い人々である。400人(66%)は中間層。
B. 主要部族と言語	全てコーサ族、第4学年から英語授業あり。
C. 宗教	全てクリスチャンである。メソジスト、アポストリック・チャーチ派などあり。
D. ジェンダー	女性は家庭を支えている。しかし子供を十分育てるだけのお金が無く、子供を教育することにもがいている。
E. コミュニティ活動	展示会や民族ダンスなどを行っている。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. E. N. Lumeza			
2. 設立年と建築年	1985年設立。1985年に3教室、他の5教室は1997年に建設。 本年Local Post office (鍵付き郵便受け) ができた。現在1教室建設中。			
3. 校舎の被害歴	最も古い1教室のハット教室 (円柱形教室) は数日前に倒壊。 校内に太陽電池設備が設置されてあったがパネルは盗難でなし。			
4. 生徒数	男	女	計	
	小学校	194	192	386
	中学校	39	65	104
		233	257	490
5. 最長通学距離	3 km			
5. 教室と学級	教室数	8		
	学級数	9		
	複式学級1			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	2	2
8. 就学前教育と上級学校				
プレスクール				
上級学校	SSSは本校より8 km離れたところにある。進学率は90% (男女50%) 。			
備考	集会参加者 男14人, 女37人, 計51人 集会の前後に雷雲が迫ったが、直撃は避けられた。			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：H-1 Mali JSS

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Bhala A/A(Flagstaff District)
2. 地域代表者名	Mr. M. Nonkonyana
3. 地域の人口	男2000人, 女3,000人, 計5000人
4. 社会構造	
A. 経済状況	殆どの人は職を持っていない。 月収は平均R500。
B. 主要部族と言語	コーサ族80%、ポンド族20%で彼らの間に摩擦は無い。
C. 宗教	3宗派がある。モスLEM(Moslem), ザイオン(Zion), アポストリック(Apostolic)であるが、彼らの間に摩擦は無い。
D. ジェンダー	子供に教育を受けさせることを必要としている。
E. コミュニティ活動	コミュニティは村に1組織である。 道路の建設や、破損教室の修理、ヘンス作りなど協力した。 教室の維持管理など協力体制はよく取れている。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. C. N. Nozihamba			
2. 設立年と建築年	1976年設立, 初めは教会の借り教室から出発した。順次土造の教室が建設され, 最後の教室は2000年の3月に完成した。			
3. 校舎の被害歴	1999年、強風で屋根が、吹き飛ばされた。			
4. 生徒数		男	女	計
	小学校	143	160	303
	中学校	42	60	102
		185	220	405
5. 最長通学距離	3 km			
6. 教室と学級	教室数	8		
	学級数	9		
	複式学級：第5と第6学年が複式			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	5	1	2	2
	生徒委員は第7、8学年より選ばれている。			
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール 上級学校 村にはSSSが無いので将来は欲しい。			
備考	集会参加者：男14人, 女71人, 計85人			

対象地域社会・教育調査取りまとめ表

対象学校名：I - 1 H l a b a t h i n i

(1) 一般状況

1. 対象地域名	Ramzi Location (Lusikisiki)
2. 地域代表者名	Mr. Zwelebhunga Tshiceka
3. 地域の人口	男3,000人、女4000人、計7000人
4. 社会構造	
A. 経済状況	富裕層：月収R2500以上... 1% 中間層：月収R2500～1000... 9% 貧困層：月収R1000以下... 90% 主な産業は農業と家畜の飼育。
B. 主要部族と言語	ボンド族が主。
C. 宗教	全員がクリスチャン（メソジスト）。 学校では授業以外にお祈りなどもする。
D. ジェンダー	家の財産は鉱山で働く男性の収入で切盛りされているが貧しいので 女性は子供を働きに行かせなければならないのが問題。
E. コミュニティ活動	学校の維持管理が必要な場合は学校運営委員会の合議の後、労働や 資金についてコミュニティに伝えられ協力を要請する。 村には7つのコミュニティあり、コミュニティは道路、川などが境界となる。 コミュニティのイベントに学校は殆ど利用されていない。
F. その他	病院は村になく、15kmも離れた所に1ヶ所あるだけである。

(2) 学校教育状況

1. 校長名	Ms. Kumalo			
2. 設立年と建築年	1981年設立、1981年最初に建設した教室は既に老朽化し現在廃屋。 中央校舎は1997年よりコミュニティの手で建設中。			
3. 校舎の被害歴	1986年の豪雨で3教室が崩壊した			
4. 生徒数		男	女	計
	小学校	175	178	353
	中学校	46	70	116
		221	248	469
5. 最長通学距離	3km			
5. 教室と学級	教室数	8		
	学級数	9		
	複式学級：第5～第6学年が複式			
7. 学校管理委員会SGB	保護者	校長	教員	生徒
	6	1	3	2
	SGBの発足は1997年。メンバー改選は3年ごと。生徒委員は毎年改選。			
8. 就学前教育と上級学校	プレスクール 上級学校			
備考	集会参加者：SGBの議長、教師（校長は欠席）、住民多数			